

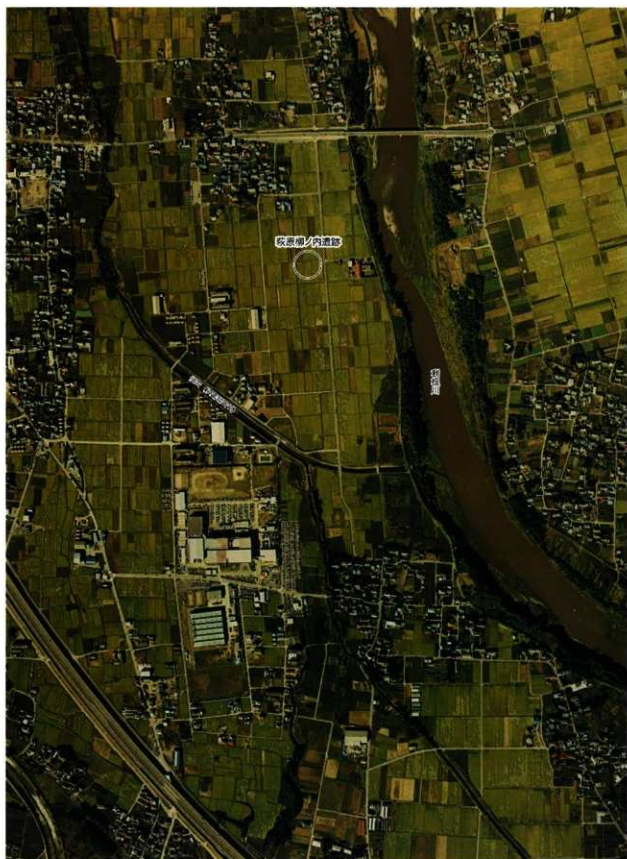
高崎市文化財調査報告書第 502 集

萩原柳ノ内遺跡

—協和キリン高崎工場C地区倉庫棟建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2 0 2 3

高 崎 市 教 育 委 員 会
協 和 キ リ ン 株 式 会 社
技 研 コ ン サ ル 株 式 会 社



遺跡の位置（上が北）
国土画像情報（cikt-80-1 c8 11、1980年撮影）に一部加筆



As-C軽石混土層下面全景（北から）



SD3全景（南から）



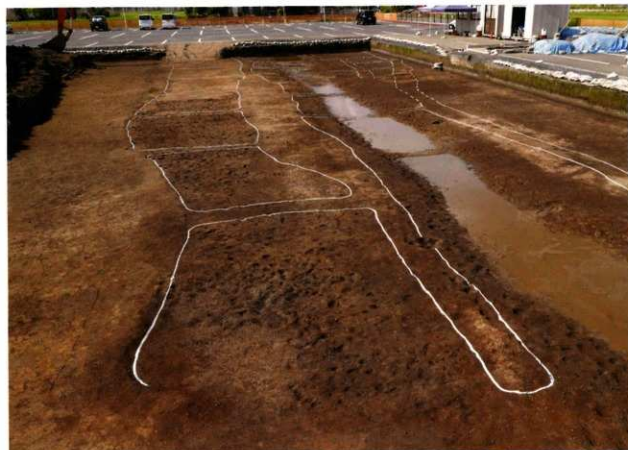
Hr-FA洪水留下水出全景（北から）



SD1 全景（南から）



SD1・Hr-FA洪水層下水田全景（南東から）



SD1・IIr-FA洪水層下水田全景（南から）



As-B 軽石下水田全景（北東から）



As-B 軽石下水田大睦町全景（東から）

例 言

- 1 本報告書は協和キリン株式会社生産本部高崎工場C地区倉庫棟建設に伴う「萩原柳ノ内遺跡」の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査から報告書刊行に至るまでの一連の作業は、協和キリン株式会社の費用負担によって実施された。記して感謝の意を申し上げます。
- 3 遺跡の発掘調査および整理作業は、協和キリン株式会社からの委託を受けた技研コンサル株式会社が、高崎市教育委員会文化財保護課の監理指導のもと実施した。
- 4 発掘調査および整理作業の体制は下記のとおりである。

遺跡名	萩原柳ノ内遺跡
市遺跡コード	873
遺跡所在地	高崎市萩原町字柳ノ内 241-2、254-1、241-2 先水路、・道路、254-1 先水路
監理指導	高崎市教育委員会文化財保護課
発掘・整理担当	佐野良平（技研コンサル株式会社）
調査員	曾根 裕（技研コンサル株式会社）
発掘調査期間	令和5年6月1日～令和5年 8月31日
整理・報告書作成期間	令和5年9月1日～令和5年12月15日
調査面積	3,862 m ²

- 5 本書の編集は佐野が行い、原稿執筆については第1章を高崎市教育委員会文化財保護課、他を佐野が担当した。
- 6 発掘調査・整理作業参加者は次のとおりである。

大川明子（技研コンサル株式会社）

秋山 修 青木美好 浅香孝子 新井 實 安藤三枝子 飯田真也 上沢公一 宇賀神光 江原正良
岡部四郎 岡本陽一 萩原一行 小内武明 金子沢生 鎌田 昇 鴨田榮作 川野京子 菊田武明
木暮朱実 北爪二郎 櫻井未来 澤崎泰希 関根信子 関根 勝 高津邦道 立川千栄子 田所順子
土屋和美 角田拓弥 富岡信行 中沢孝夫 中嶋香織 中嶋千恵子 萩原愛実 羽鳥真臣 早川枝里奈
平井国榮 平澤小夜子 古澤昌夫 細野竹美 松下 明 松本兼太郎 村田裕男 矢島正志 山岸明日香
山口拓郎 山田 進

- 7 発掘調査で出土した遺物および図面等の資料は、一括して高崎市教育委員会にて保管されている。
- 8 下記の諸氏・諸機関にご指導・ご協力を賜りました。記して謝意を表します。

キリンエンジニアリング株式会社 戸田建設 山下工業株式会社

凡 例

- 1 全体図および遺構平面図に示した方位は北に座標北を表し、座標については世界測地系に基づく平面直角座標第Ⅱ系を使用した。
- 2 挿図に国土地理院発行1/200,000「宇都宮」「長野」、1/25,000「高崎」「前橋」、高崎市発行1/2,500 都市計画図を使用した。
- 3 巻頭図版1は国土画像情報（カラー空中写真）ckt-80-1 c8 11を使用した。
- 4 土層および遺物の色調は「新版標準土色帖」（農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票

監修)に拠る。

- 遺構表示の記号は、溝：SDとした。
- 遺構・遺物実測図の縮尺は原則的に次のとおりである。その他各図スケールを参照されたい。

遺構 水田・・・1/60、1/100 全体図・・・1/300

遺物 土器・・・1/3、 石器・・・1/1

- 本文および表中の計測値については〔 〕は現存値を、[]は復元値を表す。
- 断面図上の記号(←→)は水田畦畔の範囲を示す。
- 主な火山灰降下物等の略称と年代は次のとおりである。

浅間 A 軽石 (As-A)・・・天明三年 (1783) 浅間山噴火による降下テフラ

浅間 B 軽石 (As-B)・・・嘉永三年、天仁元年 (1108) 浅間山噴火による降下テフラ

榛名ニッ岳伊香保テフラ (Hr-FP)・・・6 世紀中葉の榛名山ニッ岳噴火による降下テフラ

榛名ニッ岳伊香保テフラ (Hr-FA)・・・5 世紀末～6 世紀初頭の榛名山ニッ岳噴火による降下テフラ

浅間 C 軽石 (As-C)・・・3 世紀後葉～4 世紀初頭の浅間山噴火による降下テフラ

目次

巻頭図版

例言・凡例

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 遺跡の位置と環境	1
1 地理的環境	1
2 歴史的環境	2
第3章 調査方針と経過	9
1 調査範囲と基本方針	9
2 調査経過	9
第4章 基本土層	11
第5章 遺構と遺物	11
1 第3面 (As-C軽石混土層下面)	11
2 第2面 (Hr-FA洪水層下水田)	28
3 第1面 (As-B軽石下水田)	48
第6章 まとめ	66

挿図目次

第1図 遺跡の位置	1	第14図 第3面平面図 (8)	20
第2図 高崎の地質	1	第15図 第3面平面図 (9)	21
第3図 周辺遺跡図	3	第16図 第3面平面図 (10)	22
第4図 調査区設定図 (1/3,000)	10	第17図 第3面平面図 (11)	23
第5図 基本土層	11	第18図 第3面平面図 (12)	24
第6図 第3面金依図	12	第19図 SD3断面図	25
第7図 第3面平面図 (1)	13	第20図 第3面出土遺物 (1)	25
第8図 第3面平面図 (2)	14	第21図 第3面出土遺物 (2)	26
第9図 第3面平面図 (3)	15	第22図 Hr-FA洪水層下水田畦畔名称図	28
第10図 第3面平面図 (4)	16	第23図 第2面全体図	29
第11図 第3面平面図 (5)	17	第24図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (1)	30
第12図 第3面平面図 (6)	18	第25図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (2)	31
第13図 第3面平面図 (7)	19	第26図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (3)	32

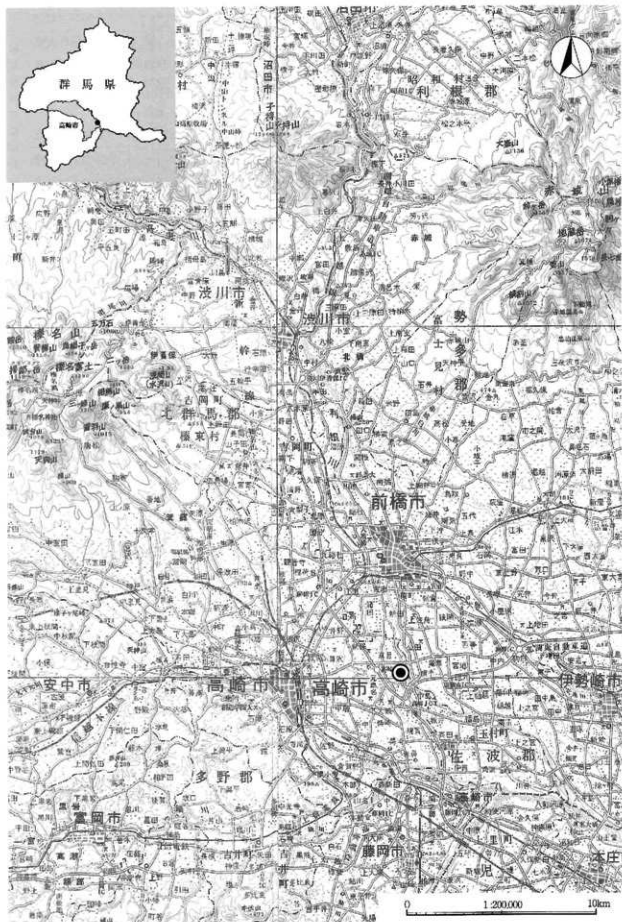
第27図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (4)	33	第44図 As-B軽石下水田平面図 (5)	54
第28図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (5)	34	第45図 As-B軽石下水田平面図 (6)	55
第29図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (6)	35	第46図 As-B軽石下水田平面図 (7)	56
第30図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (7)	36	第47図 As-B軽石下水田平面図 (8)	57
第31図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (8)	37	第48図 As-B軽石下水田平面図 (9)	58
第32図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (9)	38	第49図 As-B軽石下水田平面図 (10)	59
第33図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (10)	39	第50図 As-B軽石下水田平面図 (11)	60
第34図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (11)	40	第51図 As-B軽石下水田平面図 (12)	61
第35図 Hr-FA洪水層下水田平面図 (12)	41	第52図 As-B軽石下水田断面図 (1)	62
第36図 Hr-FA洪水層下水田断面図 (1)	42	第53図 As-B軽石下水田断面図 (2)	63
第37図 Hr-FA洪水層下水田断面図 (2)	43	第54図 As-B軽石下水田断面図 (3)	64
第38図 Hr-FA洪水層下水田断面図 (3)	44	第55図 As-B軽石下水田断面図・地味名称図	64
第39図 第1面全体図	49	第56図 本道跡周辺のAs-C軽石混土路下の遺構	67
第40図 As-B軽石下水田平面図 (1)	50	第57図 本道跡周辺のHr-FA洪水層下水田	68
第41図 As-B軽石下水田平面図 (2)	51	第58図 本道跡周辺のAs-B軽石下水田と坪内区画	70
第42図 As-B軽石下水田平面図 (3)	52	第59図 萩原寺ノ内遺跡周辺の地味名定図	71
第43図 As-B軽石下水田平面図 (4)	53		

表目次

第1表 周辺道路一覧表	5
第2表 遺物観察表	27
第3表 Hr-FA洪水層下水田計測表	45
第4表 As-B軽石下水田計測表	65
第5表 As-B軽石下水田地味計測表	65

写真図版

PL1 第3面全景 第3面北東部全景	PL11 SD1・Hr-FA洪水層下水田東側全景
PL2 第3面南東部全景 第3面南西部全景	SD1・Hr-FA洪水層下水田南側全景
PL3 第3面北西部全景 第3面全景	PL12 SD1・Hr-FA洪水層下水田東側全景
PL4 SD3全景 SD3南側全景 SD3中央部全景	Hr-FA洪水層下水田東側全景
PL5 SD3北線全景 SD3本杭出土状況 SD3ピット状遺構全景	PL13 Hr-FA洪水層下水田大畦畔全景
SD3調査区南壁断面状況	PL14 水口1全景 水口2全景 水口3全景 水口4・5全景
PL6 Hr-FA洪水層下水田全景	SD2全景
PL7 Hr-FA洪水層下水田北東部全景	PL15 As-B軽石下水田全景 As-B軽石下水田北東部全景
Hr-FA洪水層下水田南東部全景	PL16 As-B軽石下水田南東部全景 As-B軽石下水田南西部全景
PL8 Hr-FA洪水層下水田南西部全景	PL17 As-B軽石下水田北西部全景 As-B軽石下水田西部全景
Hr-FA洪水層下水田北西部全景	PL18 As-B軽石下水田西部全景 As-B軽石下水田北東部全景
PL9 Hr-FA洪水層下水田全景	PL19 As-B軽石下水田南側全景 As-B軽石下水田東側全景
Hr-FA洪水層下水田北側全景	PL20 As-B軽石下水田東側全景 As-B軽石下水田大畦畔全景
PL10 Hr-FA洪水層下水田北側全景	PL21 As-B軽石下水田畦畔B全景 As-B軽石下水田畦畔H全景
Hr-FA洪水層下水田北側全景	PL22 As-B軽石下水田畦畔I全景 As-B軽石下水田畦畔O・P全景
Hr-FA洪水層下水田東側全景	PL23 重石1検出状況 重石2検出状況 耕作具検出状況 作業風景
SD1・Hr-FA洪水層下水田東側全景	PL24 出土遺物



第1図 遺跡の位置

旧河川の流路を奪取する形で現在的位置に変流したとされている。遺跡は台地の微高地と後背湿地が複雑に入り組んだ地形の後背湿地の部分に位置する。現在では相馬ヶ原扇状地を水源とする中小河川沿いの自然堤防上の微高地は宅地、その後背湿地は水田として利用されている。また近年では、道路整備や商業施設の出店等により田畑の宅地化が進んでいる地域である。

2 歴史的環境（第3図、第1表）

縄文時代 縄文時代の遺跡は当該地域では少なく、公田池尻遺跡（31）の土坑、西田Ⅲ遺跡（46）で草創期の有舌尖頭器、横手湯田遺跡（39）で溝底部より中～後期にかけての土器片が出土しているだけである。本遺跡の南西方向に位置する元島名遺跡（57）では長方形土坑から後期の深鉢が出土しており、土器周囲からは炭化物が検出されている。上記以外の遺構やまとった遺物の出土例は現在のところ知られていないが土器片や石器が広範囲に分布していることから小規模な集落が点在していた可能性が考えられる。

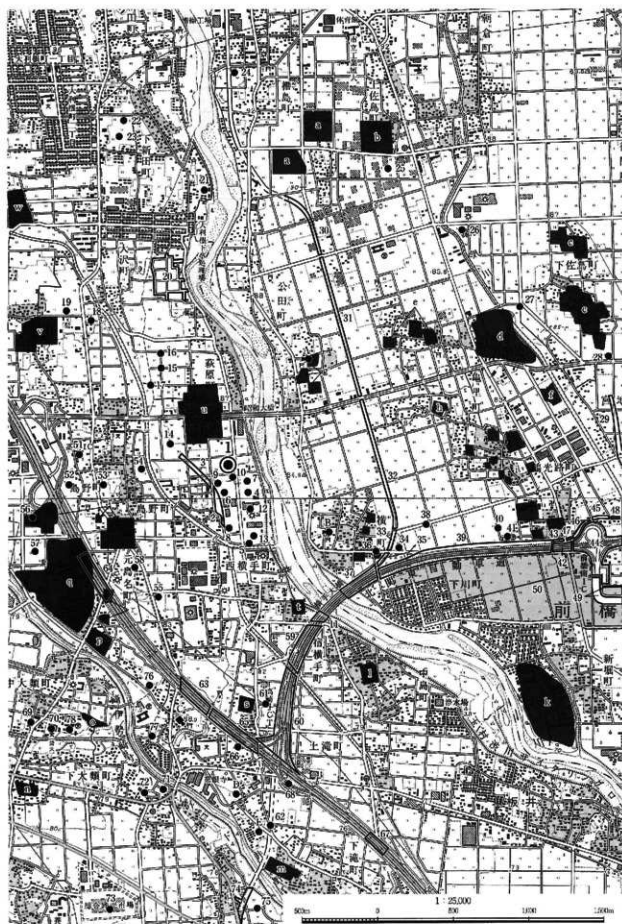
弥生時代 利根川流域周辺では縄文時代と同様に遺構は少ない。棚島川端遺跡（24）では中期の再葬墓と後期の住居跡、公田池尻遺跡では弥生期の水田の存在を窺わせる用水路跡が確認されている。本遺跡南西の井野川周辺に目を移すと元島名遺跡や鈴ノ宮遺跡では集落跡や方形周溝墓が確認されている。また関越自動車道沿線を北西に進むと集落や水田跡が確認された岡指定史跡の日高遺跡が存在する。

古墳時代 古墳時代の遺跡は前時代と比べ飛躍的に増加する。いままで過疎地ともいえる地域（低地部）に新たな大開発を目的に人々が進出し、微高地に集落を造り低地には水田を営み、井野川や烏川流域に有力者の墳墓が造営されるようになる。本遺跡に近い井野川左岸には県内最古の古墳として位置付けられている全長90mの前方後方墳である元島名將軍塚古墳（C）や1966年の調査で複室構造の両袖型横穴式石室が確認された前方後円墳である前山古墳（D）、横穴式石室をもつ全長30mの前方後円墳である御伊勢山古墳（E）があり、井野川下流域には数多くの副葬品や埴輪が出土した岡指定史跡の綿貫観音山古墳や舟形石積をもつ不動山古墳等が存在する。西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱ（12）、棚島川端遺跡、公田東遺跡（30）、綿貫遺跡（75）では周溝墓が確認されている。また井野川左岸にあたる下滝天水遺跡（62）では5世紀に推定される居館の堀跡の一部が確認されており、周辺域を治めていた豪族の居館跡と推定されている。

集落遺跡として前期では公田池尻遺跡、横手湯田遺跡、横手早稲田遺跡（35）、上滝遺跡（65）、綿貫遺跡、後期では下佐島遺跡（26）、川曲遺跡（27）、公田東遺跡、上滝横町北遺跡（60）、上滝遺跡、中大類金井遺跡（69）、中大類金井分遺跡（70）、下大類遺跡（73）、綿貫遺跡等が挙げられる。本遺跡の直近では萩原・沖中遺跡8（8）・萩原・沖中遺跡9（9）で前期の周溝状遺構が確認されている。集落の分布域を見てみると主に井野川兩岸の河岸段丘上の低台地に集中していることがわかる。井野川左岸の段丘より北西の低地部では集落遺跡が皆無に等しく生産域として活用された地域であったようである。

生産遺跡としての水田跡は近年の発掘調査事例の増加に伴い本遺跡の立地する低地部において広範囲に亘って確認されている。本遺跡周辺では6世紀初頭と中葉の2回の榛名山噴火時の泥流や火山灰で埋没した水田（Hr-FA下水田、Hr-FP下水田）が確認され、そのほとんどが小畦畔で区画されている「小区画水田」である。

奈良・平安時代 律令制に伴い、現在で言う「都市計画」的な開発が行われた時期である。前橋市元総社町付近には国府が造営され、台地上は条里地割に基づく大規模な耕地開発が行われた。施工時期については不明な点も多いが、前橋台地の北東側、広瀬川低地帯にある中原遺跡（前橋市）の調査では、弘仁九年（818）に起きた地震に起因する泥流堆積物直下から、条里地割を伴う水田跡が確認されている。台地上においても砂町遺跡（玉村町）では大畦畔成立時期は8世紀後半と考えられており、西田遺跡では9世紀後半の堅穴住居跡を切って条里地割を伴う水田跡が検出していることから、遅くとも9世紀代には水田開発が行われたと考えられる。嘉承三年、天仁元年（1108）の浅間山の噴火に起因するAs-B 軽石層に覆われた水田跡は、本遺跡周辺ではほぼすべての調



第3図 周辺道路図

査地点で検出している。この時期に耕地が爆発的に増大したことがわかる。しかしながら、承平・天慶の乱や度重なる利根川の氾濫・洪水等の自然災害、承和年間（834～848）の飢饉・疫病の流行等により荒廃と再開発が繰り返される。その過程で耕地開発の主が上着有力氏族の支配下へと移っていったと考えられる。

当期の集落遺跡は前時代同様自然堤防上等の微高地に分布しており公田東遺跡、公田池尻遺跡、西田遺跡（44）、西田Ⅱ遺跡（45）、西田Ⅴ遺跡（48）、下滝大木遺跡、上滝遺跡、中大類金井分遺跡、下大類蟹沢遺跡（71）、下大類遺跡、綿貫小林前遺跡（74）、綿貫遺跡が挙げられる。

中世 享徳二年（1454）、鎌倉公方足利成氏による関東管領上杉憲忠の誅殺に端を発し、関東全域を二分して文明十四年（1482）までの約30年間戦乱が続くこととなる（享徳の乱）。西陣宮の境目となる利根川の流域付近では軍事的緊張感が高まり、それに伴い攻撃・防御拠点となる城館が多く造られるようになる。文明八年（1476）、上杉家中の分裂争いから長尾景春が鉢形城（埼玉県寄居町）で挙兵し、上杉方の重要拠点である五十子陣（埼玉県本庄市）を急襲する（長尾景春の乱）。この陣にいた上杉顕定は陣所の維持が困難となったため阿内城（阿内古城、f）へ撤退することとなる（『松陰私語』）。文明九年（1477）、足利成氏はこれを好機とみて、滝（市内上滝町・下滝町周辺）、島名（市内元島名町）に進出し陣所を構える（『松陰私語』）。このことから本遺跡周辺地域もこの戦乱の渦中にあったことが窺える。

戦国時代になると上野国内は甲斐の武田氏、越後の上杉氏、相模の北条氏等、外來勢力の侵攻により草刈り場の様相を呈する。地元の支配層はその勢力に対抗、または服従し自領の保全に努めた。そういった状況下から高崎市東南部～伊勢崎市西部にかけての微高地上に地元の有力氏族や外來支配者によって城館が数多く造られる。本遺跡に近い萩原城（v）は地侍である萩原地衆の16世紀代の城館とされている。萩原は永禄三年（1560）長尾景虎（上杉謙信）が関東侵攻の際に、上野国内の「衆」と呼ばれる地域連合集団（箕輪衆・沼田衆など）に対して服属の意思として名を記載した名簿「関東幕注文」の惣社衆の一人として名がみられる。惣社衆は荻海城（前橋市元総社町）を本拠とする長尾氏（関東管領上杉氏の家宰）が統率し、萩原の他に安中氏、小幡氏、多比良氏、大類氏、多胡氏、瀬下氏等の名がみられ、やや広範囲に亘って連合集団を形成していたことがわかる。その中で萩原城は荻海城を中心とした連合支城群の一つとして機能していたと考えられる。本遺跡南西に位置する元島名城（q）は昭和53年に発掘調査が行われている。調査では本丸と推定される郭の堀跡や掘立柱建物跡・井戸等が確認され、遺物は内耳鍋・鉢等の炊煮陶器や瀬戸・美濃等の陶磁器を中心に出土している。石製品の中には石臼・五輪塔の他に延慶二年（1309）の銘がある板碑が出土している。こういった城館は近年の圃場整備や開発等により削平され、そのほとんどが堀跡をわずかに残すのみである。

近世 天明三年（1783）浅間山が噴火し県内全域に火山灰（As-A）が降灰し吾妻川へと流れ込んだ泥流は利根川を伝って下流域へ被害をもたらした。降り積もった火山灰を地中に埋めて処理した所謂「復田痕（灰塚き穴）」は横田湯田遺跡、横手井戸南遺跡（36）、西横手南川端遺跡（37）、下阿内町町畑遺跡（49）、宿横手三波川遺跡（59）で確認されている。本遺跡から南東へ約5kmの位置にある上福島町遺跡では利根川を流下した泥流下から被害を受けた集落跡が確認された。1.5mの厚さで堆積した泥流は建物跡・便所・井戸・島を呑み込んでおり、建物跡から出土した数多くの生活用具が建物外へ移動していない点から泥流はゆっくりと押し寄せていったと考えられている。

第1表 周辺遺跡一覧表

遺跡

No	遺跡名	水田				時代：主な遺構・出土遺物	報告書・参考文献
		C	FA	FP	B		
1	萩原南ノ内遺跡		○	○		古墳：溝	本報告書
2	萩原沖中遺跡		○	○		近世：溝	『萩原沖中遺跡』2005 高崎市教育委員会
3	萩原沖中Ⅱ遺跡		○	○		近世：溝	『萩原沖中遺跡Ⅱ』2007 高崎市教育委員会
4	萩原沖中遺跡 第3次調査		○	○		古墳：土坑・ピット、溝	『萩原沖中遺跡第3次調査』2009 高崎市教育委員会
5	萩原沖中遺跡5		○	○	—		『萩原沖中遺跡5』2009 高崎市教育委員会
6	萩原・沖中遺跡6		○	○	—		『萩原・沖中遺跡6』2009 高崎市教育委員会
7	萩原・沖中遺跡7		○	○		中近世：土坑	『萩原・沖中遺跡7 西横手・西免遺跡4 西横手・西免遺跡5』2013 高崎市教育委員会
8	萩原・沖中遺跡8		○	○		古墳：周溝状遺構・煙突、中近世：溝	『萩原・沖中遺跡8』2015 高崎市教育委員会
9	萩原・沖中遺跡9		○	○		古墳：周溝状遺構、中近世：溝	『萩原・沖中遺跡9』2022 高崎市教育委員会
10	萩原沖中遺跡10		○	○	—		『萩原沖中遺跡10』2023 高崎市教育委員会
11	西横手遺跡群	○	○	○		古代：住居跡・獨立柱建物跡、 中近世：竈敷跡・竈跡群	『西横手遺跡群』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
12	西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱ		○	○		古墳：周溝墓、水路跡、中世：鉄杖遺構、 近世：竈前庭	『西横手遺跡群Ⅰ』1989 高崎市教育委員会 『西横手遺跡群Ⅱ』1990 高崎市教育委員会
13	西横手・西免遺跡4、 西横手・西免遺跡5		○	○		近世：竈前庭	『萩原・沖中遺跡7 西横手・西免遺跡4 西横手・西免遺跡5』2013 高崎市教育委員会
14	萩原八幡沖遺跡	○			—		『高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告17』2003 高崎市教育委員会
15	萩原上五丁Ⅰ遺跡	○	○	○	—		『群馬県高崎市 萩原上・下五丁Ⅰ遺跡』1999 県史処理区萩原遺跡調査会
16	萩原上五丁Ⅱ遺跡	○	○	○		古墳：溝	『群馬県高崎市 萩原上五丁ⅡⅢⅣⅤ遺跡』2001 県史処理区萩原遺跡調査会
17	萩原八幡西・ 萩原上五丁ⅢⅣ・ 下五丁ⅣⅤ遺跡		○	○		古代：溝、中世：道路跡	『萩原八幡西・萩原上五丁ⅢⅣ・下五丁ⅣⅤ遺跡』2003 高崎市教育委員会
18	京目杉ノ内・ 大沢大沢西遺跡			○		近世：溝	『京目杉ノ内・大沢大沢西遺跡』1999 高崎市教育委員会
19	京目久保・天神前・ 榑ノ内・上小路遺跡		○	○		中世：堀、溝	『京目久保・天神前・榑ノ内・上小路遺跡』2000 高崎市教育委員会
20	萩原岡地遺跡	○	○	○		近世：鉄杖遺構、溝	『萩原岡地遺跡』1993 高崎市遺跡調査会発掘調査団
21	下新田遺跡					古墳：住居跡、近世：竈前庭	『下新田遺跡』1979 群馬県埋蔵文化財発掘調査団
22	下新田沖中遺跡			○	—		『下新田沖中遺跡』1998 群馬県埋蔵文化財発掘調査団
23	下新田沖中Ⅱ遺跡			○	—		『下新田沖中Ⅱ遺跡』1998 群馬県埋蔵文化財発掘調査団
24	鶴岡川端遺跡	○	○	○		弥生：住居跡・竈前庭、古墳：住居跡・ 獨立柱建物跡、方形周溝墓・竈前庭・ 遺物集中	『鶴岡川端遺跡』1996 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
25	上佐島中原前・ 上佐島中原Ⅱ遺跡			○	—		『上佐島中原前遺跡』1998 『上佐島中原Ⅱ遺跡』2004 群馬県埋蔵文化財発掘調査団
26	下佐島遺跡					古墳：後期の住居跡	『須賀野遺跡・下佐島遺跡・宿内城跡』1983 群馬県教育委員会
27	川曲遺跡					古墳：後期の住居跡	『川曲遺跡・東公古墳』1982 群馬県教育委員会

No	遺跡名	水田				時代：主な遺構・出土遺物	報告書、参考文献
		C	FA	FP	B		
28	東田遺跡					古墳：前期の遺物出土	『東田遺跡』1998 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
29	宮地中田遺跡				○	-	『宮地中田遺跡』1997 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
30	公田東遺跡			○	○	古墳：方形周溝墓、古代：生居跡・掘立柱建物跡、中世：居居跡・井戸・土坑、近世：墓・溝	『鶴岡川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡』1997 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
31	公田池尻遺跡			○	○	縄文：土坑、弥生：用水路跡、古墳：住居跡、古代：住居跡、中世：灰館跡	『鶴岡川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡』1997 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
32	亀里平塚遺跡			○	○	中世：水田跡	『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
33	横手宮田遺跡		○	○	○	中世：水田跡	『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
34	横手宮田Ⅱ遺跡				○	-	『横手宮田Ⅱ遺跡』2004 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
35	横手早稲田遺跡			○	○	古墳：前期の住居跡、中世：水田跡	『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
36	横手井戸市遺跡				○	中世：水田跡、近世：As-A 泥流埋没土坑	『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
37	西横手南川端遺跡			○		古墳：住居跡、祭祀跡、井戸、平安：溝、中近世：泥流下り水田跡、風車跡、灰坑・土坑	『亀里平塚遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 『横手南川端遺跡・横手宮田遺跡・横手早稲田遺跡・横手南川端遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
38	亀里鏡面遺跡・ 亀里鏡面Ⅱ遺跡				○	中近世：掘立柱建物跡、井戸、土坑、溝	『亀里鏡面遺跡』2001 『亀里鏡面Ⅱ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
39	横手湯田・ 横手湯田Ⅱ～Ⅴ遺跡			○	○	古墳：前期周溝墓、住居跡、中世：居居跡、近世：竪穴墓、As-A 掘立柱	『横手南川端遺跡・横手湯田遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 『横手湯田Ⅱ遺跡』1998 『横手湯田Ⅲ遺跡』1998 『横手湯田Ⅳ遺跡』1998 『横手湯田Ⅴ遺跡』1998 『横手湯田Ⅵ遺跡』2000 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
40	亀里油免Ⅱ遺跡				○	中世：溝	『亀里油免Ⅱ遺跡』2005 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
41	鏡光路神引遺跡				○	-	『鏡光路神引遺跡』1997 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
42	村中遺跡		○		○	中世：居居跡、近世：屋敷、墓	『西田遺跡・村中遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
43	村中Ⅱ遺跡					平安：溝、土坑	『村中Ⅱ遺跡・西田Ⅴ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
44	西田遺跡		○	○	○	平安：住居跡、近世：墓	『西田遺跡・村中遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
45	西田Ⅱ遺跡				○	平安：住居跡	『横手湯田Ⅱ遺跡・西田Ⅱ遺跡』1998 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
46	西田Ⅲ遺跡					縄文：草創期の有舌尖頭器、古墳：土坑・溝、平安：掘立柱建物跡、中近世：溝	『西田Ⅲ遺跡』1999 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
47	西田Ⅳ遺跡					平安：溝、土坑	『村中Ⅱ遺跡・西田Ⅴ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
48	西田Ⅵ遺跡				○	平安：住居跡、溝、中近世：溝	『西田Ⅵ遺跡』2001 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
49	下阿内也町遺跡			○	○	古墳：円形周溝墓、土器集積遺構、溝、近世：As-A 灰坑・土坑	『下阿内也町遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

No	遺跡名	水 田				時代：主な遺構・出土遺物	報告書・参考文献
		C	FA	FP	B		
	南部拠点地区遺跡群 No. 1		○	○		平安：溝・土坑・ピット、中近世：溝・土坑・ピット	『南部拠点地区遺跡群 No. 1』2009 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
	南部拠点地区遺跡群 No. 2			○		古墳：溝・ピット、中近世：溝・土坑・ピット	『南部拠点地区遺跡群 No. 2』2009 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
	南部拠点地区遺跡群 No. 3			○		古墳～中近世：溝・土坑、近代：焼瓦、彈劔	『南部拠点地区遺跡群 No. 3』2009 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
	南部拠点地区遺跡群 No. 4	○	○			平安：溝・土坑、中近世：溝・土坑	『南部拠点地区遺跡群 No. 4』2010 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No. 5	○	○			古墳：溝、中世：溝・土坑	『南部拠点地区遺跡群 No. 5』2010 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No. 6			○	—		『南部拠点地区遺跡群 No. 6』2011 前橋市教育委員会
50	南部拠点地区遺跡群 No. 7			○		中世～現代：溝・土坑・ピット	『南部拠点地区遺跡群 No. 7』2014 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No. 8			○		中世以降：溝・土坑	『南部拠点地区遺跡群 No. 8』2014 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No. 9			○		中近世：溝・土坑・ピット	『南部拠点地区遺跡群 No. 9』2014 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No.10			○		古墳：住居跡・土坑	『南部拠点地区遺跡群 No.10』2014 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No.11	○	○			古墳：前期外周溝跡、井戸、古代：溝井状遺構・道路跡、中近世：掘立柱建物跡・溝列・溝	『南部拠点地区遺跡群 No.11』2014 前橋市教育委員会
	南部拠点地区遺跡群 No.12	○	○			古墳前期：副葬品遺構、古墳後期～近世：溝・土坑	『南部拠点地区遺跡群 No.12』2022 前橋市教育委員会
51	鳥野神明遺跡					古代：Aa-B下層	『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』1992 高崎市教育委員会
52	鳥野西辻遺跡			○	—		『飯坂新田西辻遺跡・鳥野西辻遺跡、第17回埋蔵文化財発掘調査報告』2000 高崎市教育委員会
53	鳥野村西遺跡		○	○	—		『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報 14』2000 高崎市教育委員会
54	鳥野村東遺跡			○	—		『鳥野村東遺跡』1988 高崎市教育委員会
55	鳥野中町遺跡		○	○	—		『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』1992 高崎市教育委員会
56	元鳥名中子遺跡			○	—		『高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告 13』1999 高崎市教育委員会
57	元鳥名遺跡					縄文：土坑、弥生：住居跡、古墳：前期の住居跡、中世：掘立柱建物跡	『元鳥名遺跡』1979 高崎市教育委員会
58	元鳥名諏訪北遺跡			○	—		『高崎市内六遺跡埋蔵文化財発掘調査概報』1992 高崎市教育委員会
59	宿禰手三波川遺跡		○	○	○	中世：掘立柱建物跡・土坑・溝、近世：溝・溝・灰掻き穴	『宿禰手三波川遺跡』1999 『宿禰手三波川遺跡』2001 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
60	上滝横町北遺跡	○	○		○	古墳：後期の住居跡、中世：居間跡、近世：水田跡	『上滝横町北遺跡』2002 『上滝横町北遺跡・上滝Ⅱ遺跡』2002 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
61	上滝横町北Ⅱ遺跡	○	○	○		中世：竪穴状遺構・掘立柱建物跡	『上滝横町北Ⅱ遺跡』1997 高崎市遺跡調査会

No	遺跡名	水田				時代：主な遺構・出土遺物	報告書・参考文献
		C	FA	FP	B		
62	下滝大遺跡		○	○		古墳：住居跡・溝・削形石製品、古代：住居、中世：掘立柱建物跡・溝、近世：水田・畠	『下滝大遺跡』2004 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
63	元島名A遺跡					—	『八幡原A・B、上滝、元島名A遺跡』1981 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
64	元島名B遺跡					中世：元島名城の堀・溝	『元島名B・吹屋遺跡』1982 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
65	上滝遺跡					古墳：前期・後期の住居跡、古代：奈良期の住居跡、中世：居館跡	『下滝田・滝川A遺跡、滝川B・C遺跡』1987 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
66	上滝II遺跡		○	○		中世：堀切	『上滝田北遺跡・上滝II遺跡』2002 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
67	滝川C遺跡					古墳：前期の土坑	『下滝田・滝川A遺跡、滝川B・C遺跡』1987 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
68	上滝五反畑遺跡		○	○		近世：As-A 下水田	『上滝五反畑遺跡』1999 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
69	中大類金井遺跡					古墳：後期の住居跡、平安：土坑	『中大類金井遺跡』1989 高崎市遺跡調査会
70	中大類金井分遺跡					古墳：後期の住居跡、奈良：住居跡	『中大類金井分遺跡』1992 高崎市遺跡調査会
71	下大類沢遺跡					古墳：古墳・集落、古代：集落	『下大類沢遺跡』1993 高崎市遺跡調査会
72	下大類・中道下遺跡					古墳：溝・土坑、古代：溝	『下大類・中道下遺跡』2010 高崎市教育委員会
73	下大類遺跡					古墳：後期の住居跡、古代：住居跡	1978 調査 高崎市教育委員会
74	雄貫小林前遺跡					古墳前期・後期：集落、平安：集落、中世：居館跡	『雄貫小林前遺跡』2006 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団
75	雄貫遺跡					古墳：鎌倉山古墳周溝、方形周溝墓・前後期の集落、古代：瓦葺建物跡・集落	『雄貫遺跡』1985 高崎市教育委員会
76	元島名旭遺跡 元島名旭遺跡2					古墳：後期清・近世：溝・土坑 古墳：前期・近世：溝・土坑 不明：コノ字状区画	『平成22年度市内遺跡発掘調査報告書』2011 高崎市教育委員会 『元島名旭遺跡2』2017 高崎市教育委員会
77	元島名下河原遺跡					縄文：包含層、弥生：散布地、古墳：前期包含層・中～後期集落、古代：集落	『元島名下河原遺跡』1994 高崎市遺跡調査会
78	中大類・天田遺跡					古墳：散布地、古代：集落、中世：居館跡・区画溝	『中大類・天田遺跡』2011 高崎市遺跡調査会

古墳

No	古墳名	築造年代	古墳概要
A	下河川3号墳	—	前方後円墳・後円部のみ残存
B	浅間神社古墳	—	前方後円墳・後円部一部残存
C	元島名将軍塚古墳	4c	前方後方墳・粘土埴・四角埴・墓下礫石網・大刀・鉈・二重口埴蓋
D	前山古墳	6c末～7c初	前方後円墳・円形埴・式石室・馬具類
E	御伊勢山古墳	—	前方後円墳・横穴式両袖型石室（横室）

城館

No	名称	存続年代	築・在城者名	遺構・遺物	備考
a	福島屋敷	—	福島氏	堀、土居、戸口	元屋敷から西へ移る。
b	中沢屋敷	—	—	堀、土居、戸口	奈良時代に深い間わりがある。
c	下佐鳥津屋敷	—	—	堀	数々の宅地が共有の堀で囲まれている。
d	菅阿内城	16世紀	二階有丹	堀、土居、戸口、櫓台、板小屋	近年破壊。

No	名称	存続年代	築・在城者名	遺構・遺物	備考
e	亀甲隠座遺構群	—	—	堀、4ヶ所の様座遺構	天神屋敷は2重の堀で囲まれ良好に遺存。
f	阿内古城	文明9年(1477)	上杉謙定	—	—
g	三公州様座遺構群	—	—	堀	—
h	岩田屋敷	—	—	2重の堀	—
i	錦光路龜形隠座遺構群	—	—	堀、14ヶ所の様座遺構	—
j	横手隠座遺構群	—	—	—	防水の小堀遺構。近世のものか。
k	新堀城	16世紀	和田正盛	—	判帳川氾濫により消滅。
l	田口屋敷	16世紀	田口豪祐	堀、土居、板碑	—
m	下滝館	文明9年(1477)	足利成氏・ 大井田氏	堀、土居、戸口、井、別荘	文明9年、成氏7ヵ月間仮御所。 近世大井田氏居住。
n	大畑寄居	—	柳崎地蔵	堀、土居、戸口	近年破壊。根岸氏居住。
o	陸田屋敷	16世紀	高井氏	堀、土居	—
p	元島名内出	16世紀	阿久沢氏	堀、土居、戸口	付近に小堀遺構がある。
q	元島名城	15世紀 16世紀	島名伊豆守 長井豊前守政家	堀、土居、戸口、板小堀、板碑	昭和51・53年一部発掘調査。
r	元島名護遺構群	—	島名氏	板屋敷等	昭和53年一部発掘調査。
s	江原源左衛門屋敷	16世紀末	江原源左衛門	堀	—
t	上徳小堀敷	南北朝時代	—	—	—
u	新堀屋敷	—	新堀真左右衛門	—	—
v	森原城	16世紀	森原地蔵	堀、土居、戸口	板御城。
w	深沢屋敷	—	深沢氏	堀、土居、戸口	長楽寺がある。

第3章 調査方針と経過

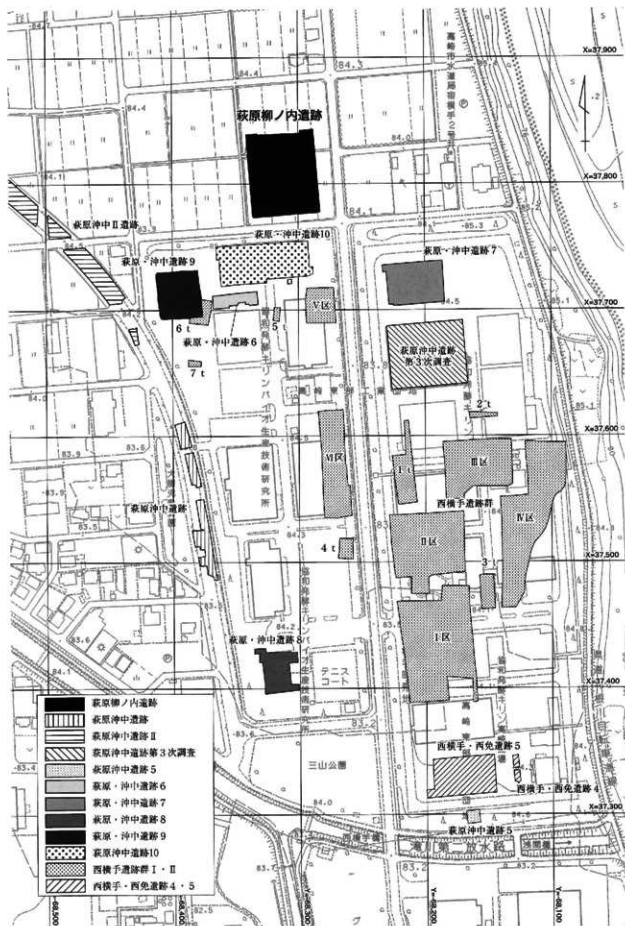
1 調査範囲と基本方針

今回の発掘調査は、高崎市教育委員会による試掘調査の結果に基づき、倉庫建設予定地内のうち現状保存の不可能な部分(3,862㎡)を対象とし実施した。遺構確認面までの掘削は0.7㎡バックホーを使用し、10tダンプにて排土を搬出した。遺構確認後に遺構掘り下げ、遺構精査、測量・写真撮影の手順で実施した。

遺構の記録には、図面作成はトータルステーション・電子平板を用いての測量・編集を行なった。記録写真は35mm判モノクロフィルムとデジタルカメラを用いて撮影を実施した。各遺構面の調査区全景撮影についてはドローンでの撮影を実施した。

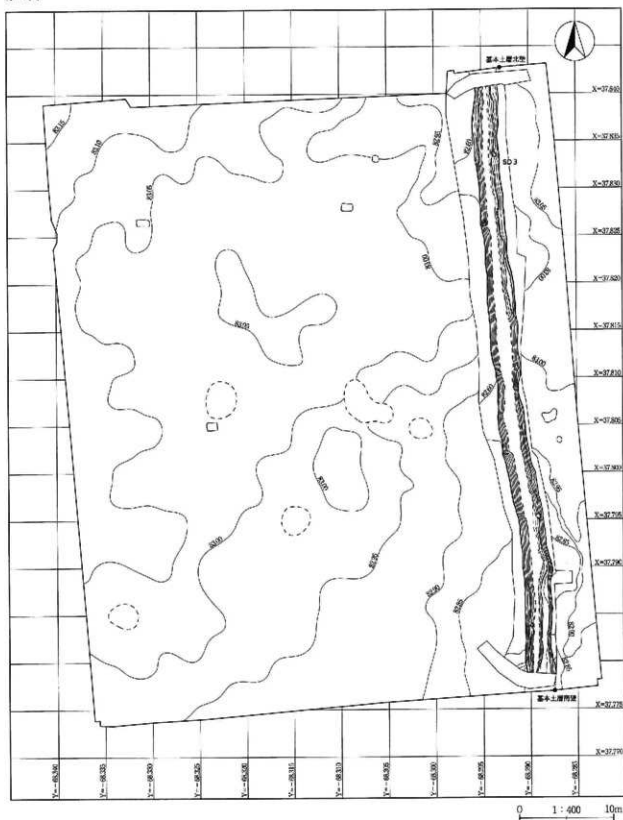
2 調査経過

発掘調査は6月1日～8日の期間に事前準備作業を実施した。調査対象地の現状がアスファルトの駐車場であることから、6月12日～27日にアスファルト舗装撤去工事を実施した。6月30日、重機にて表土掘削を開始、7月3日から作業員による第1面目の遺構確認調査を開始する。7月10日からAsB軽石下水田の掘り下げ開始する。7月26日全景撮影(第1面)を実施し、翌日から第2面への掘削と遺構確認調査を開始する。8月2日からHrFA洪水層下水田の掘り下げを開始。8月16日全景撮影(第2面)を実施し、翌日から第3面への掘削・遺構確認調査を開始する。8月21日から遺構の掘り下げを開始する。8月25日、全景撮影(第3面)を実施した。8月31日までに機械掘削作業を含めた現地での調査を完了する。

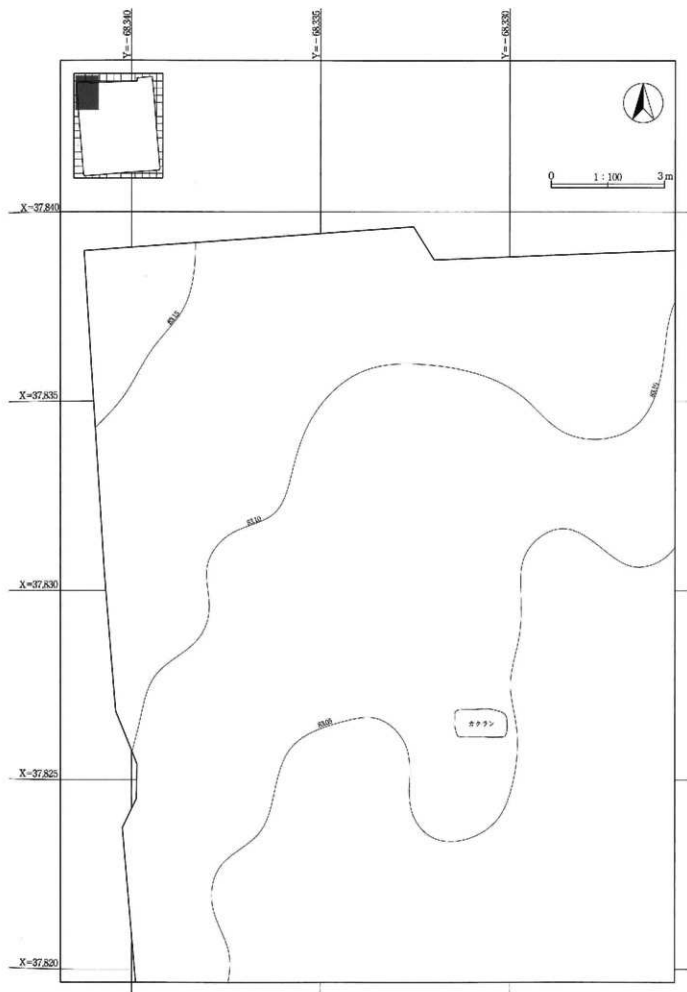


第4図 調査区設定図 (1/3,000)

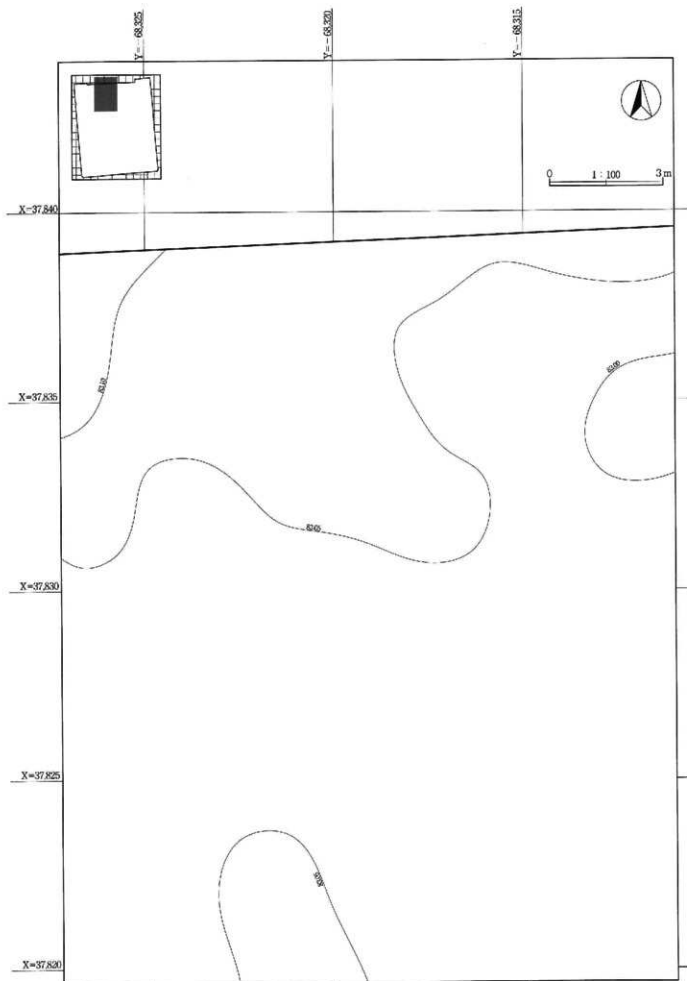
第3面



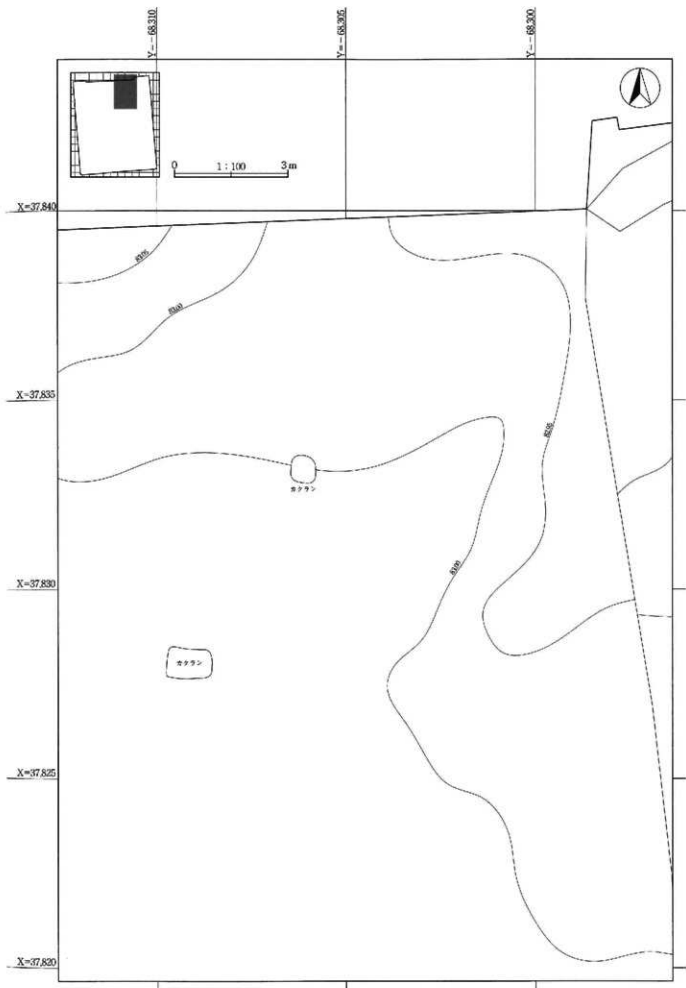
第6图 第3面全体图



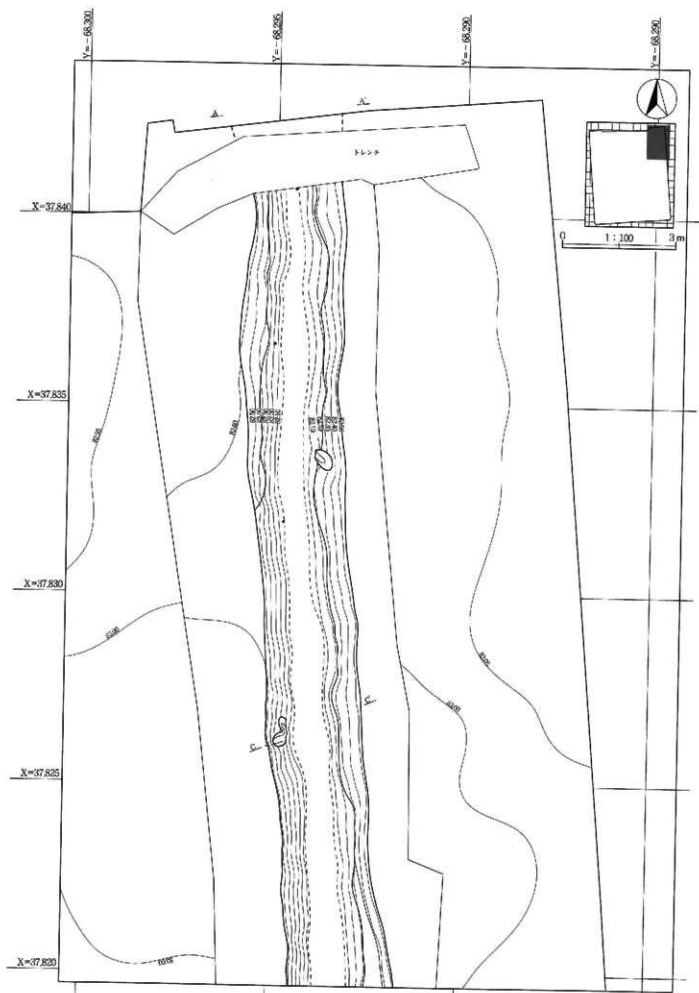
第7図 第3面平面図(1)



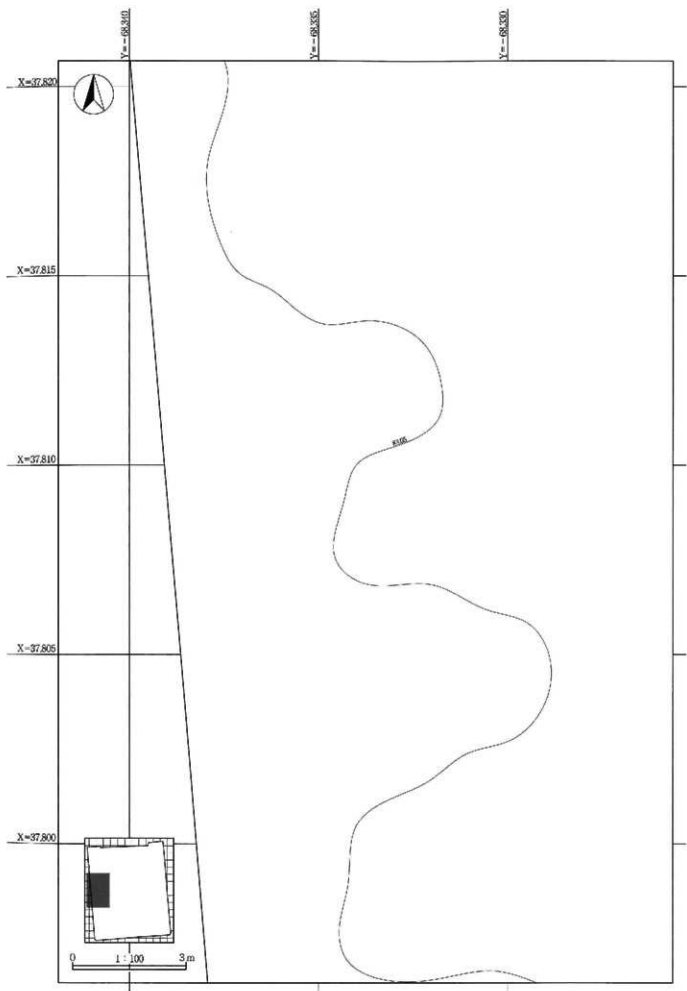
第8图 第3面平面网(2)



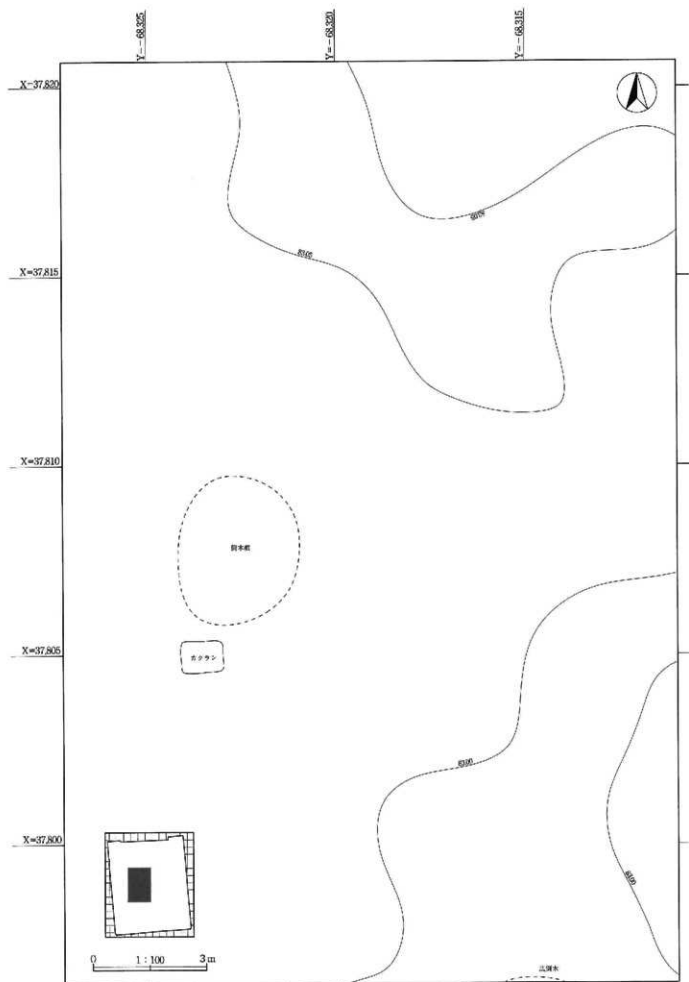
第9図 第3面平面図(3)



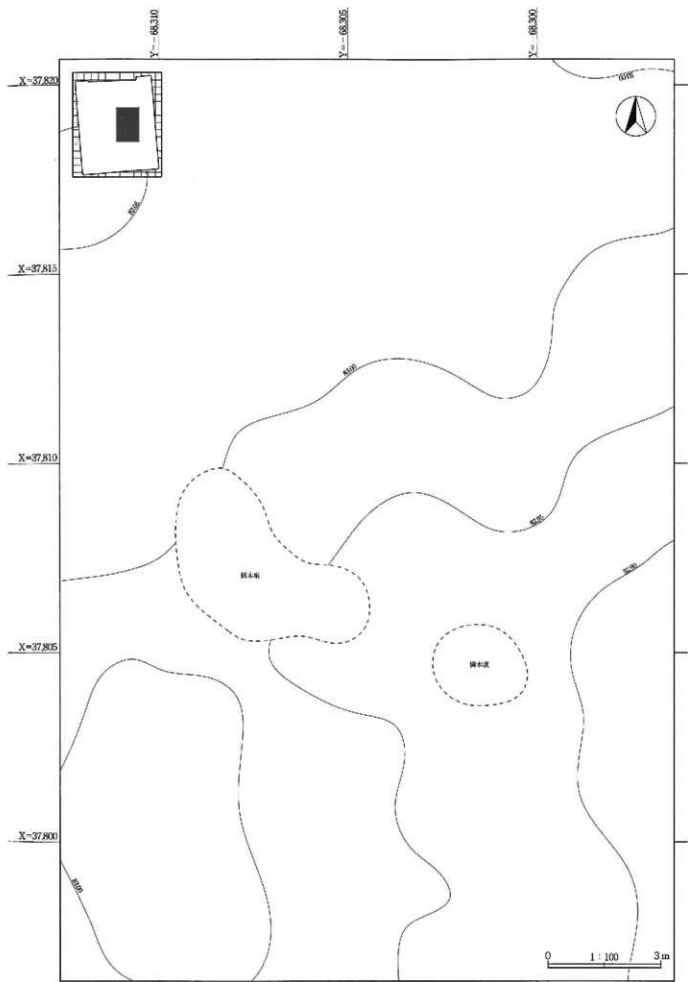
第10図 第3面平面図 (4)



第11図 第3面平面図(5)



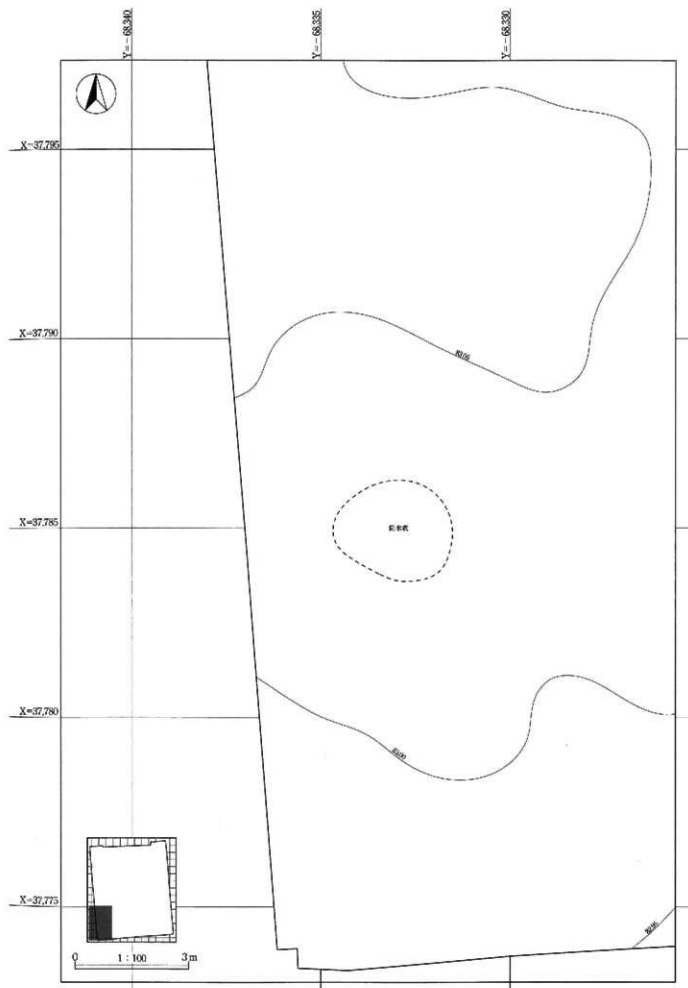
第12図 第3面平面図(6)



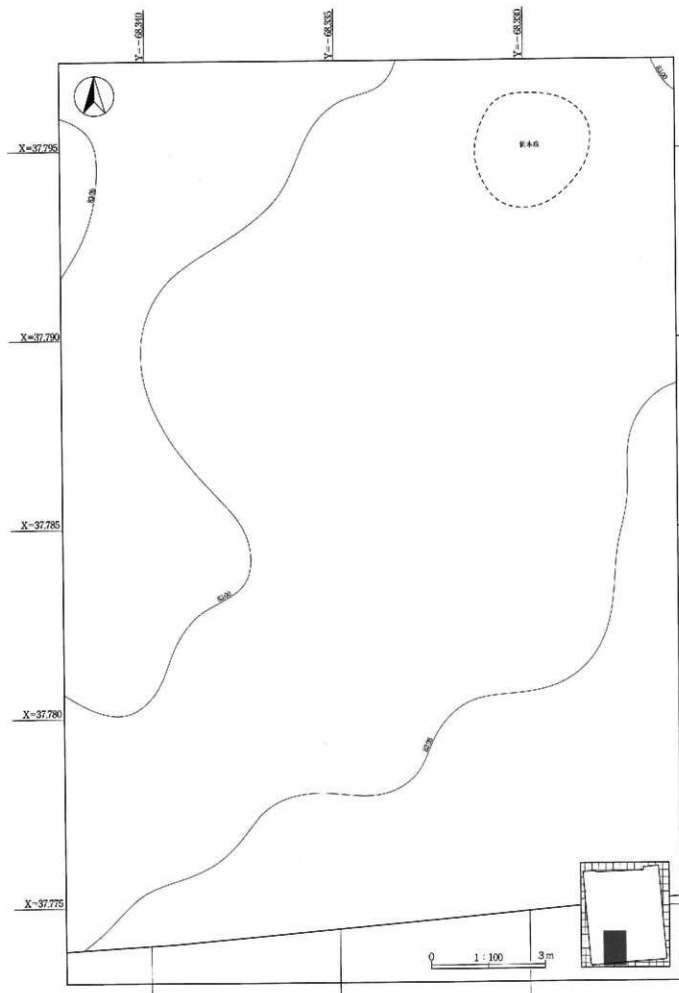
第13图 第3面平面图 (7)



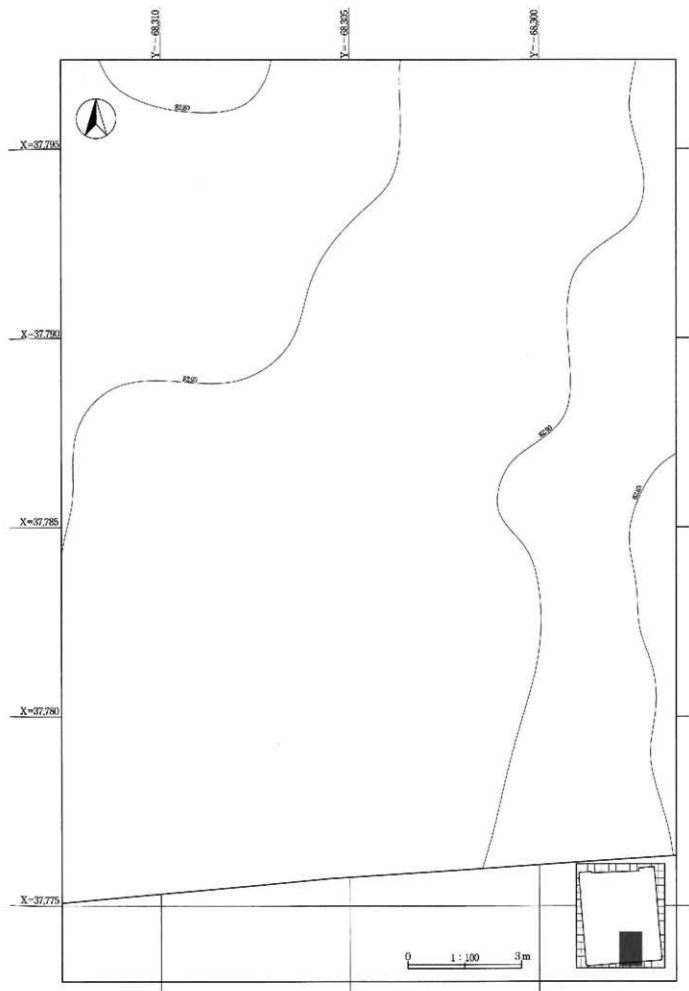
第14图 第3面平面图(8)



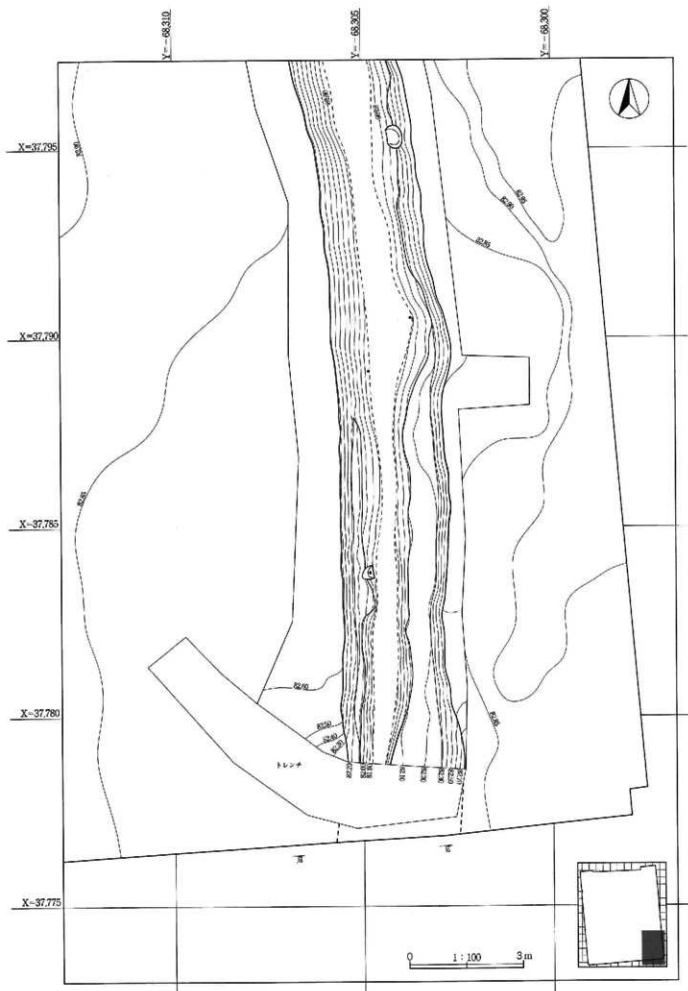
第15図 第3面平面図(9)



第16図 第3面平面図 (10)

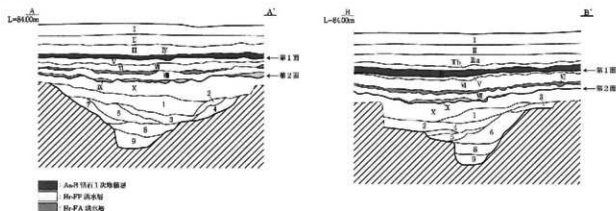


第 17 图 第 3 面平面图 (11)



第 18 図 第 3 面平面図 (12)

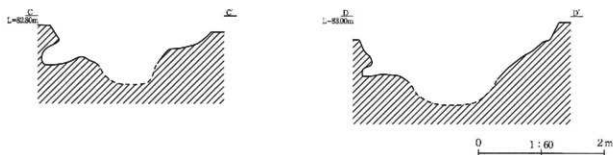
SD3



地質土層

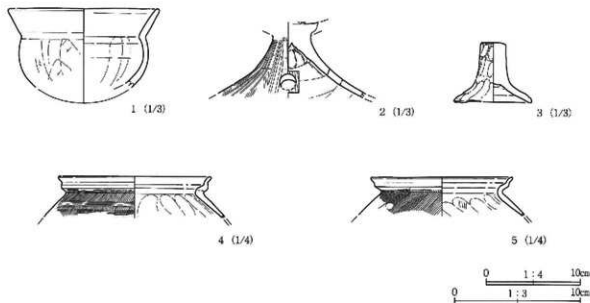
- 1 黒色土 (IYB2/2) 造成後の汚泥土層。As-Fe 鉄石層を少量含む。硬さ有り、粘性強い。
 2 灰褐色～灰質粘土 (IYB6/1)～(IYB6/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 3 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 4 赤褐色土 (IYB5/1) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 5 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 6 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 7 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 8 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 9 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。

- 1 黒色土 (IYB2/2) 造成後の汚泥土層。硬さ有り、粘性強い。
 2 灰褐色～灰質粘土 (IYB6/1)～(IYB6/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 3 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 4 赤褐色土 (IYB5/1) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 5 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 6 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 7 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 8 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。
 9 赤褐色土 (IYB5/2) As-Fe 鉄石層土層。硬さ有り、粘性強い。



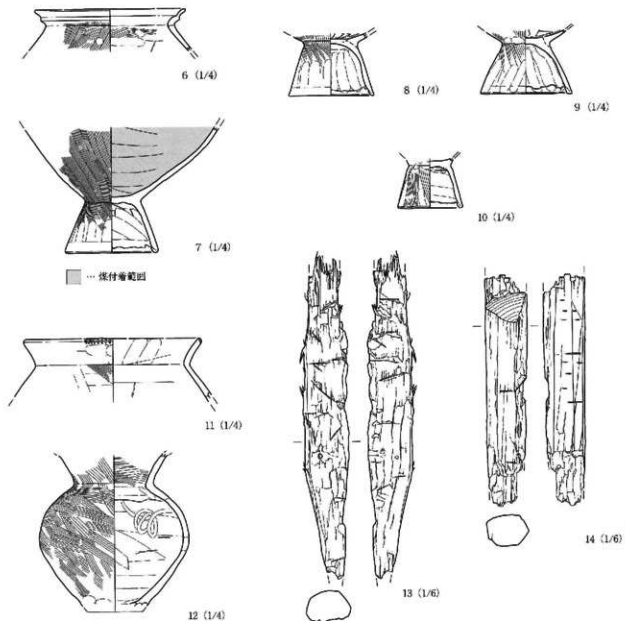
第19図 SD3断面図

SD3

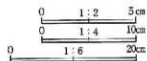


第20図 第3面出土遺物 (1)

SD3



第3面



第21図 第3面出土遺物(2)

第2表 遺物觀察表
SD3

No	出土位置	種類、番種	口径	底径	高さ	胎土	焼成	色調	図形、彫、文、文面等の特徴	発見状況・備考
1	Ⅰ-Ⅱ	土師器 小杯足	〔120〕	欠損	(62)	黒・茶色紋 ナット、 黒・茶色紋	良好	橙	外周口縁部コナダ、腰部に内溝し溝部外縁、腰部ヘラケズリ及びユビナダ。 内面口縁部コナダ、以下ヘラケズ及びユビナダ。	口縁→胴部中片、
2	Ⅰ-Ⅱ	土師器 高杯	欠損	欠損	(91)	石灰、黒褐色、 オヤマト、 茶色色紋	良好	にぶい黄褐色	外周胴部ハケズリ後縦定ヘラミズ貫通、胴部中位3箇所に直径1.2cmの穿孔が穿たれている。 内面凹線部ヘラナダ、胴外周部ユビナダ、以下面較ヘラケズリ。	口縁部→胴部下位2/3残存。
3	Ⅰ-Ⅲ	土師器 ミニチュア	20	胴部径 〔62〕	4.7	石灰、灰・ 茶色色紋	良好	灰白色	外壁平直前後や中位ユビオヤニ、上腰部平坦、胸部ユビナダ。 内面平直前後ユビナダ。	胴部2/3欠損。
4	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	〔162〕	胴部 欠損	(43)	石灰、黒・ 灰・茶色色紋	良好	灰黄	外周口縁部コナダ、口縁部の中位に溝やかな凹痕を持ち口唇部外周、胴上段ハケズリ工（準勾玉形）による縦定ハケズリ及び凹線ハケズリナダ。 内面口縁部コナダ、胴部上段ヘラナダ後縦定ユビナダ。	口縁→胴部上段片、
5	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	〔180〕	胴部 欠損	(41)	白・黄・灰・ 茶色色紋	良好	黄灰黄	外周口縁部コナダ、口唇部中に凹痕を持ち口唇部外周、胴部上段ハケズリ工（準勾玉形）によるハケズリナダ。 内面口縁部コナダ、胴部上段ヘラナダ後縦定ユビナダ。	口縁→胴部上段片、
6	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	〔140〕	胴部 欠損	(48)	白色縦線 紋、黒黄緑、 灰・茶色色紋	良好	浅黄緑	内面口縁部コナダ、口唇部中に凹痕を持ち口唇部外周、腰部から胴部上段へ一帯のハケズリ具による縦定ハケズリ。 内面口縁部コナダ、胴部胴部ヘラケズリ、以下ヘラケズ及びユビナダ。	口縁→胴部上段片、
7	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	欠損	胴部 98	(126)	白・黒・ 茶色色紋、 オヤマト、 黒色	良好	灰白・黒色	外周胴部中位以下一帯一帯のハケズリ具によるハケズリ。右半部ハケズリナダ、内面口縁部下段ユビナダ、胴部コナダ、内面口縁部コナダ、胴部胴部ヘラケズリ、以下ヘラケズ及びユビナダ。	胴部中位1/3→台唇残存。
8	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	欠損	胴部 90	(65)	黒褐色、灰・ 茶色色紋、 灰・茶色色紋	良好	にぶい黄褐色	外周胴部下段から台唇にハケズリ具（準勾玉形）によるハケズリ。台唇ハケズリ後口唇部コナダ及びコナダ、胴部コナダ、内面口縁部コナダ、胴部胴部ヘラケズリ、腰部胴部コナダ。	胴部下段部→台唇残存。
9	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	欠損	胴部 97	(67)	白色縦線 紋、黒黄緑、 灰・茶色色紋	良好	浅黄	外周胴部上段から一帯一帯のハケズリ具によるハケズリ、台唇部コナダ及び下半部胴部コナダ併し、胴部コナダ。 内面口縁部コナダ、胴部胴部ヘラケズリ、腰部胴部コナダ。	胴部下段部→台唇残存。
10	Ⅰ-Ⅲ	S字状口縁 台付甕	欠損	胴部径 5.6cm	(52)	白・黒・茶色 色紋	良好	にぶい黄褐色	外周口縁部一帯一帯のハケズリ具による縦定ハケズリ及び口唇部コナダ、口唇部中に凹痕を持ち口唇部外周、胴部上段ハケズリ及び口唇部コナダ、胴部胴部ヘラケズリ、腰部胴部コナダ。	口縁部残存。
11	Ⅰ-Ⅲ	土師器 小杯	〔208〕	欠損	(67)	黒茶色、黄・ 灰・茶色色紋	良好	にぶい黄褐色	外周口縁部コナダ、口唇部に凹痕、胴部上段ハケズリ及び口唇部コナダ、胴部胴部コナダ、以下ヘラケズリ。	口縁→胴部上段片、
12	Ⅰ-Ⅲ	土師器 高杯	欠損	欠損	(114)	石灰、黒褐色、 茶色色紋	良好	灰黄	外周口縁部中位から胴部下段から一帯一帯のハケズリ具による多方向のハケズリ、台唇部残存。 内面口縁部下半部及び胴部ハケズリ、胴部ヘラナダ及びヘラミズ。	口縁部→胴部下位1/2残存。
No	出土位置	種類、番種	長さ	幅	厚さ	形状	焼成	色調	図形、彫、文、文面等の特徴	発見状況・備考
13	Ⅰ-Ⅲ	木製品 杖	(51.6)	7.3	5.1	不明	—	—	上腰部には浅位の縦線のみが施され、上腰部には平直な加工面が確認できる。 下部は発見に打ち込み跡のように先端を尖らせるように加工されている。縦位の縦線は約4mm幅もきに施される。	欠損有り。
14	Ⅰ-Ⅲ	木製品 杖	(36.7)	6.8	5.1	不明	—	—	表面に7厘の丁寧な面取り加工が施されている。杖頭の縦線は加工面が確認できる。杖上腰部には斜方向の加工面が確認できる。	欠損有り。

第3面

No	出土位置	種類・器名	口径	底径	高さ	胎土	施文	色澤	形制、底・胎形、文様等の特徴	発見状況・備考
1	墓土	土師器 甕	—	—	—	白色軟質 土、黄色赤 土、茶色粘 土	やや散 在	灰白	外壁にほぼ同リコナテ塗後ハケ工痕（半砂本目）による横線ハケズリ、縦線との交点に暗褐色條々を染み塗り及び斜線ハケズリ、 下口縁、口縁部横線ハケズリ。 内面口縁部はコナテ、底はハケテア。	口縁部破。
No	出土位置	種類・器名	長さ	幅	厚さ	材質	施文	色澤	形制、底・胎形、文様等の特徴	発見状況・備考
2	No. 1	石製 磨瑩	4.1	2.8	0.9	黒凝灰	—	—	右半部はほぼ半磨瑩面に微細な稜面に人差し指で磨りやすり研ぎ磨きを持つ。石面に凹凸は少なく、表面は滑らかで均一に磨かれている。左半部はほぼ無利用と見られる粗面が隆起して認められる。下部磨瑩面には法螺彫が数箇所が確認できる矢張りを持つ。	欠片。
3	No. 2	石製 石皿	3.3	2.3	0.4	チャート	—	—	凹面磨瑩面、底、右側面は丁字状の磨瑩研削面を施し溝かに浅い左右対称の溝、浅い凹面状の磨瑩を伴うものとして認められる。	底存。

2 第2面 (Hr-FA 洪水層下水田)

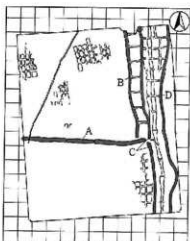
(1) 調査の概要

第1面のAs-B軽石下水田面の調査後、V層下面まで掘削を行い遺構の確認調査を実施した。Hr-FA洪水層(V層)の堆積は良好とは言えず、調査区南西側では堆積層が薄い。比較的堆積層が厚いSD 1周辺の調査区東側と北側では水田が確認されている。

(2) 水田(第22～38図、第3表、PL. 6～14)

被覆層と水田の残存状況 第2面で検出した水田面は、5世紀末から6世紀初頭の榛名山噴火を起因とするHr-FA洪水層に直接覆われている。Hr-FA洪水層の堆積は全体的に確認することはできるが、調査区南西側では堆積層厚は極めて薄く、水田区画の検出にも至っていない。調査区北側(層厚約4cm)やSD 1周辺の調査区東側(層厚約6cm)では比較的良好で水田区画も確認できる。水田区画が確認できない場所は上位の洪水層の影響を受け畦畔が削平された可能性が高いと考えられる。

水田域の地形 若干の起伏が見られるが、概ね北から南へ、西から東に向かって緩やかに低くなっている。調査区四隅の比高差は北側東西で0.13m、南側東西で0.09m、西側南北で0.19m、東側南北で0.15m、北西隅から南東隅で0.28m、北東隅から南西隅で0.06mとなっている。



第22図 Hr-FA 洪水層下水田畦畔名称図

畦畔の走向と区画 調査区中央部を東西方向に走向する大畦畔A(下幅113m)、SD 1と中規模水田区画の両脇を南北方向に走向する3本の大畦畔(B:下幅0.80m、C:下幅0.75m、D:下幅0.80m、)、計4本の畦畔によって水田面が区画されている。水田は所謂「小区画水田」に分類されるものであり、全部で108の田面を確認した。田面の形状は1.8m×1.3m程の長方形が主体的である。大畦畔B・C間には梯子状に4.0m×5.0m程の中規模の水田面が並ぶ。大畦畔C・D間にはSD 1が南北に走向し、上流部ではその両脇に中規模の水田面が、中～下流部は1.5m×5.0m程の長方形の水田面が配されている。

耕作土 As-C軽石を少量含む黒褐色粘質土(X層)を耕作土とする。層厚は調査区全域で8～16cmを測る。

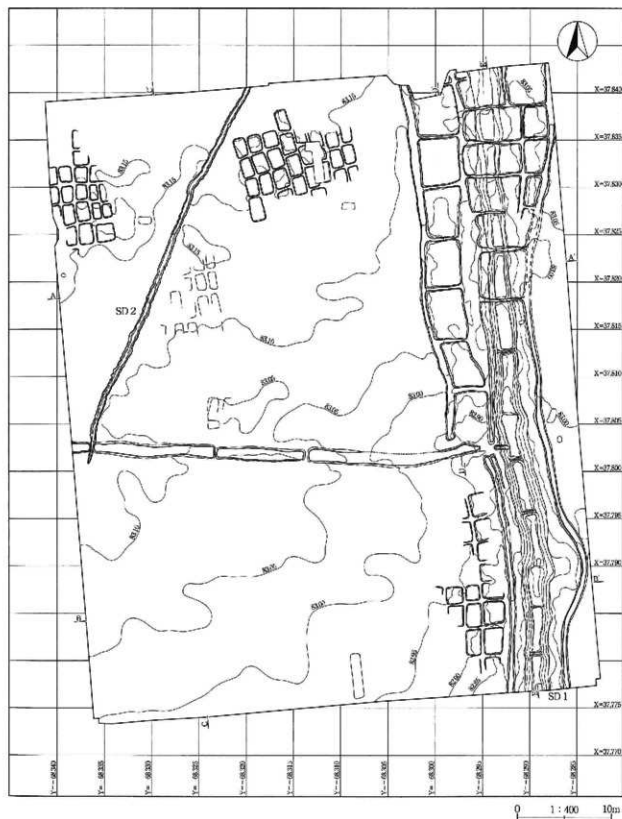
水田区画内の溝 SD 1・2の2条確認されている。SD 1は第3面のSD 3が埋没した後、溝状に窪んだ場所を利用して造られた水路と考えられる。水路内には等間隔に畦畔を配して中規模の水田として耕作していたと想定される。本遺跡の南方方向に位置する西横手遺跡群I・IIで確認されている「畦畔に挟まれた中規模水路」はこのSD 1と同一遺構と考えられる。SD 2は大畦畔の水口1に向かって北東-南西へ走向する浅い溝である。上流から取水された水を水田面に広く行き渡らせるため、標高が高い位置へと導くための溝と考えられる。大畦畔の水口に至った溝を流れた水は、大畦畔南側の水田面上流部に流れ込み、下流の水田面に供給される。

取配水の方法 水田面の傾斜から想定すると、北西側から取水し南東方向へ配水していたと考えられる。大畦畔A北側の水田区画に配水された水は、大畦畔Aの水口1～3を通過して大畦畔A南側の水田区画へと流れる。余剰の水は大畦畔A・Bの交点にある水口4を通り、大畦畔Cの水口5からSD 1へ流れていくと推測される。大畦畔B・C間の梯子状の水田区画は北方向から取水し、大畦畔A・Cの交点にある水口5からSD 1へ、または大畦畔A南側の水田へと配水されたと考えられる。SD 1内の水田区画は北方向から溝を辿って取水し、上流部の水田に配水され、下流部は溝に沿って配水されていたと想定される。水田区画から水口を通過してSD 1へと配水された場所には浅い溝状の痕跡がみられる。

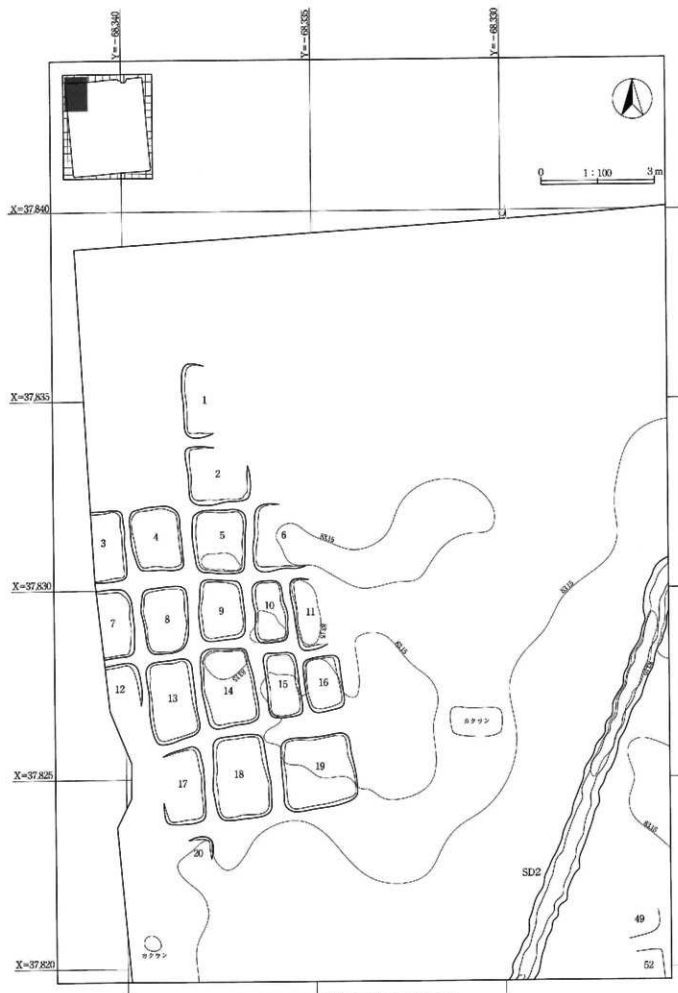
足跡 水田面や畦畔に凸凹は多く見られたが、明確な歩行列と考えられるものは検出されなかった。

出土遺物 SD 1から少量ではあるが土師器少片が出土している。

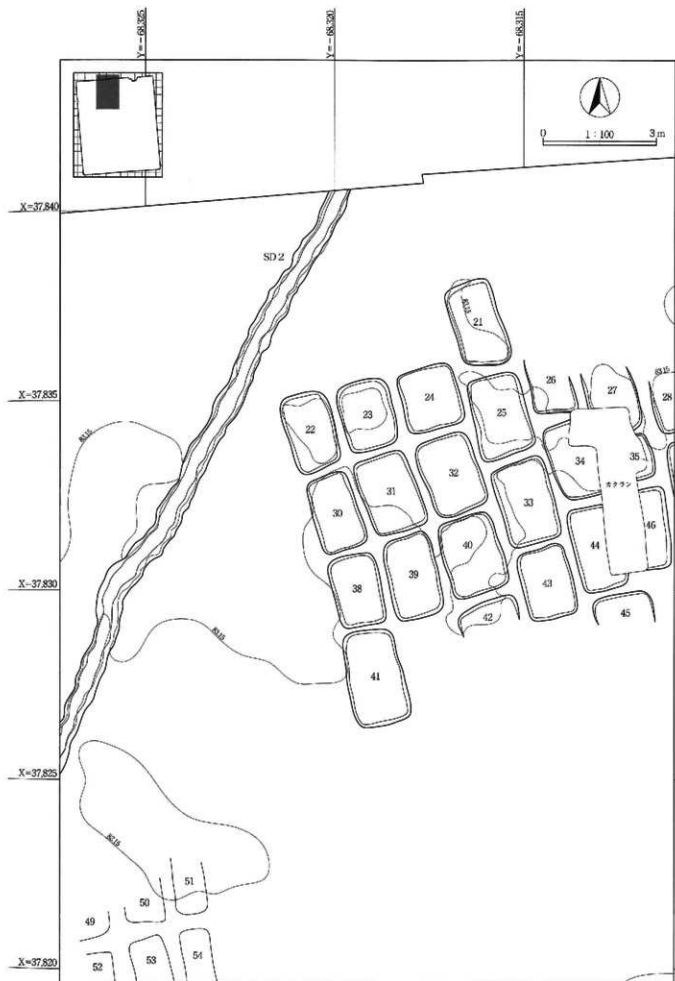
第2面



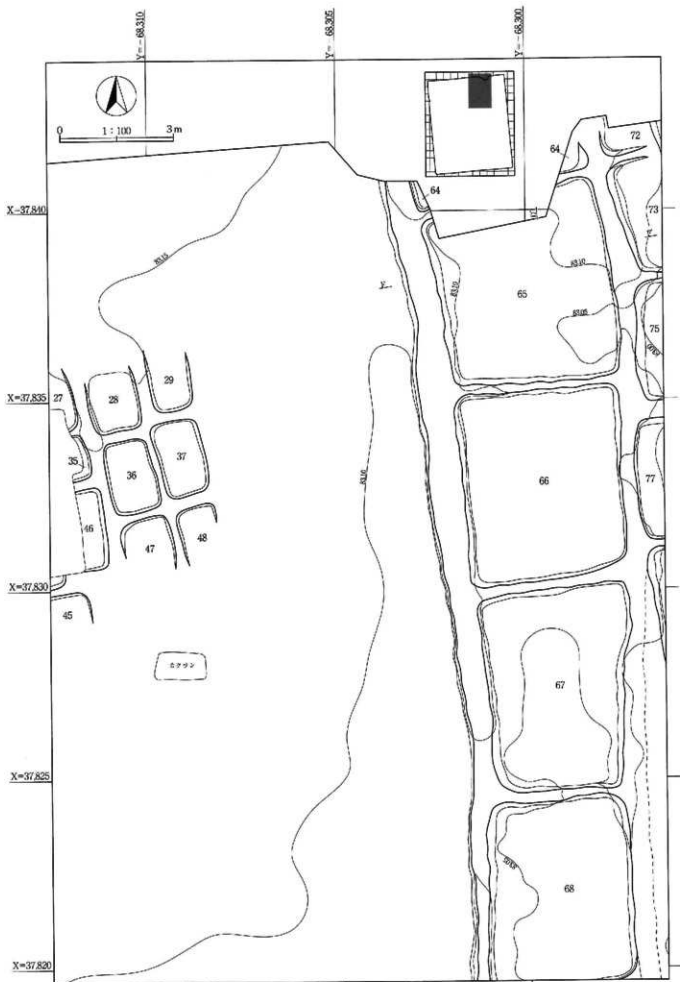
第23圖 第2面全体図



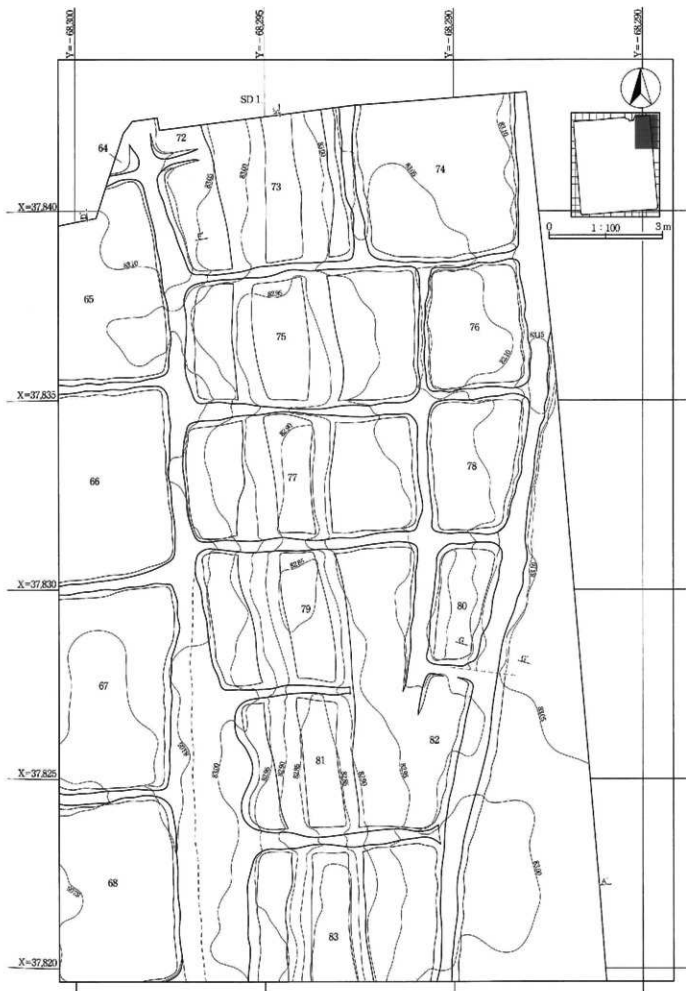
第 24 図 Hr-FA 洪水層下水田平面図 (1)

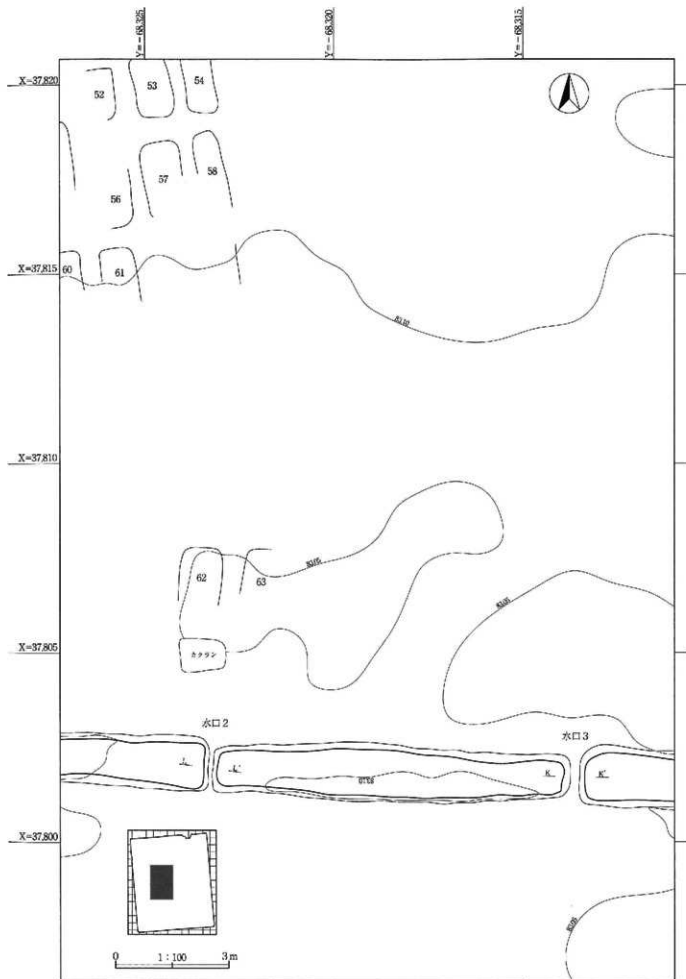


第 25 図 Hr-FA 洪水層下水田平面図 (2)

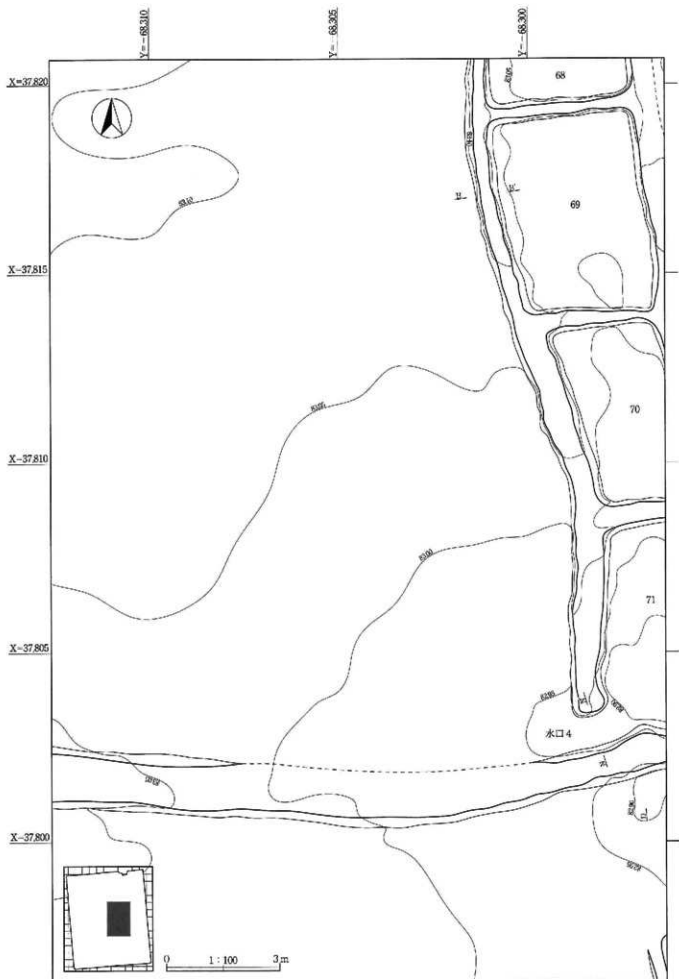


第26図 Hr-FA 洪水層下水田平面図(3)

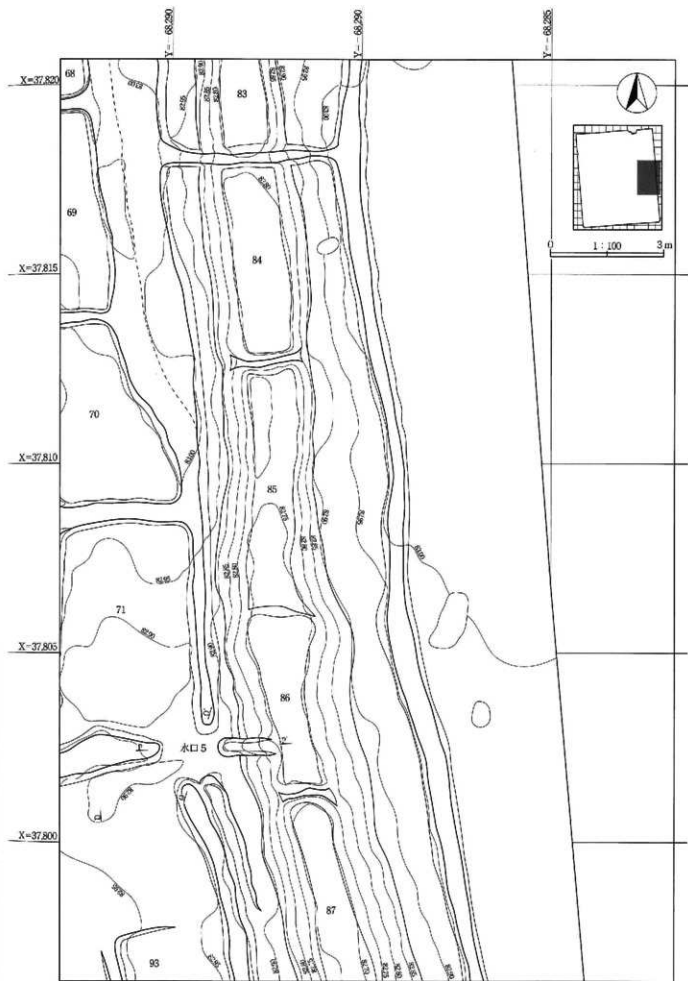




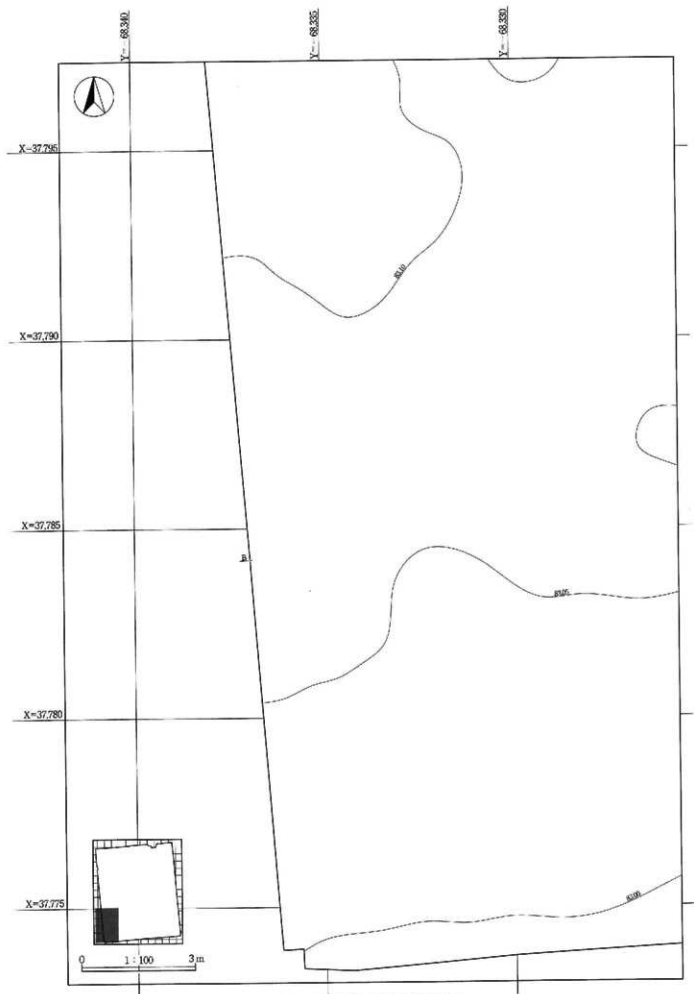
第 29 図 Hir-FA 洪水層下水田平面図 (6)



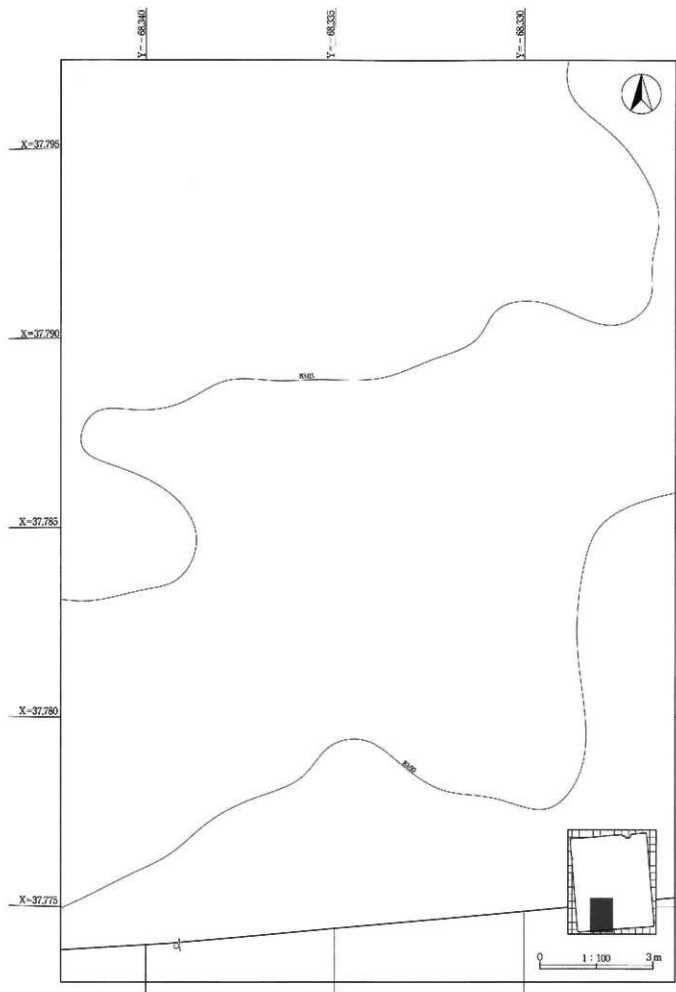
第30図 Hr-FA洪水層下水田平面図(7)



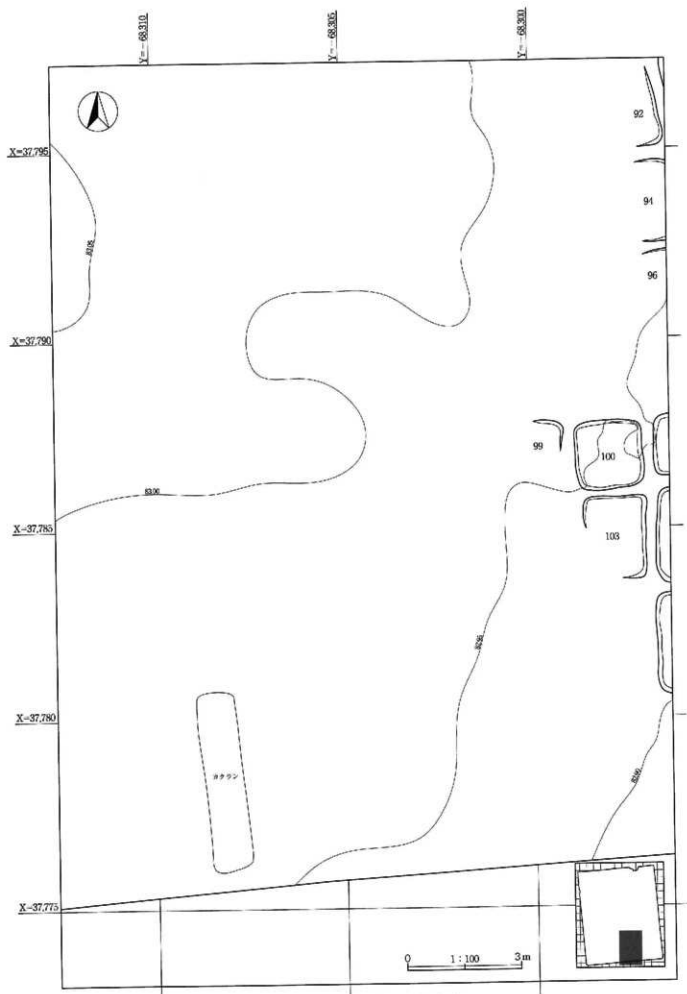
第31圖 Hr-FA洪水層下水田平面圖(8)



第 32 图 Hr-FA 洪水層下水田平面図 (9)

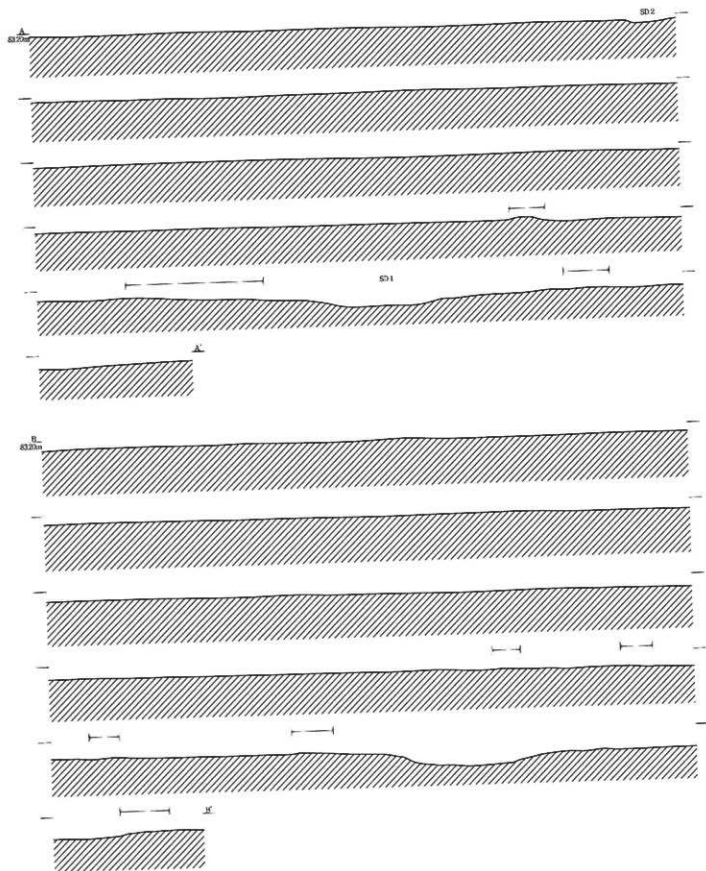


第 33 图 Hr-FA 洪水層下水田平面図 (10)



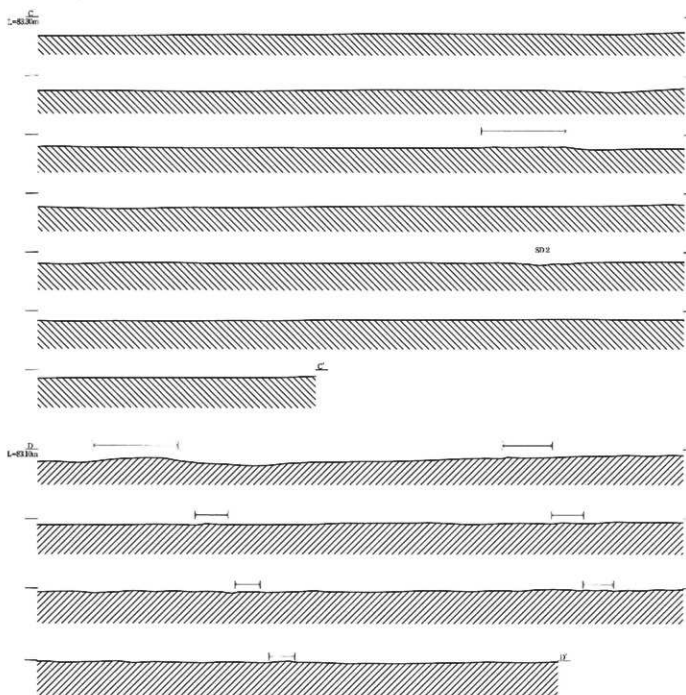


第 35 图 Hr-FA 洪水層下水田平面図 (12)



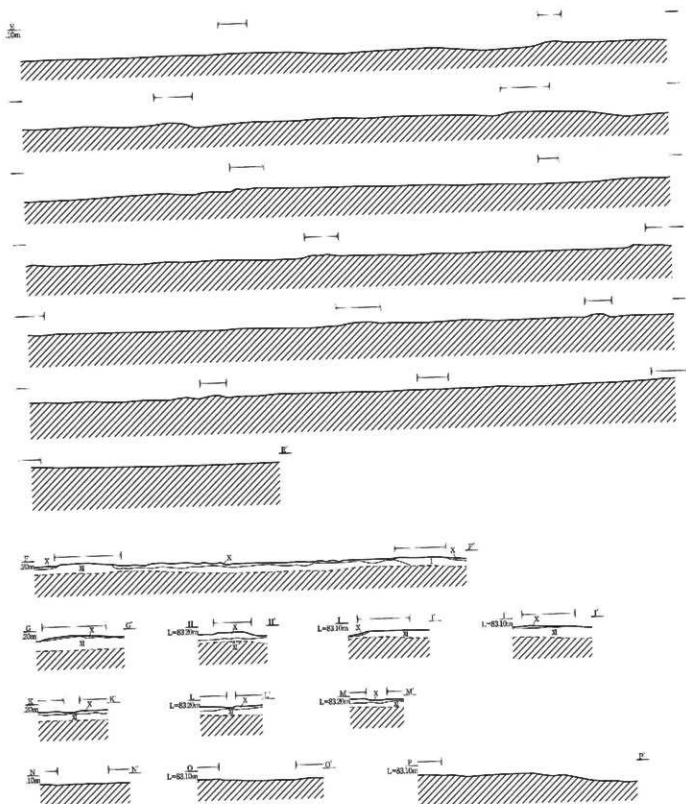
第 36 図 Hr-FA 洪水層下水田断面図 (1)

0 1:60 2m



第 37 图 IIr-FA 洪水層下出水断面图 (2)

0 1:60 2m



1+2 FA 洪水層下水田断面図 5P ~ N
 X 堆積土 (10V22-1) 3+4 FA の砂礫層上部、正味色泥岩土主部、3+5 砂礫が少量混入する。
 X 堆積土 (10V22-2) 砂礫が混入し、砂礫が主部である。砂礫が混入し、砂礫が主部である。
 I 堆積土 (10V23-2) 堆積土が主部である。砂礫が混入し、砂礫が主部である。
 J 堆積土 (10V23-2) 堆積土が主部である。砂礫が混入し、砂礫が主部である。

0 1:60 2m

第 38 図 Hr-FA 洪水層下水田断面図 (3)

第3表 Hc-F-A 洪水層下水山計測表

断面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (㎡)	南北 (㎡)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
1	X=37,834 ~ 37,835 Y= - 68,337 ~ - 68,338	1.26	(0.81)	1.91	83.19	-	83.19	83.19	-	
2	X=37,832 ~ 37,833 Y= - 68,336 ~ - 68,338	2.12	1.47	1.39	83.16	-	83.16	83.17	83.19	
3	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,339 ~ - 68,341	1.56	(0.83)	1.75	-	83.18	83.17	-	83.18	
4	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,338 ~ - 68,339	2.11	1.18	1.50	83.18	83.18	83.16	83.16	83.16	
5	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,336 ~ - 68,338	2.21	1.22	1.54	83.16	83.16	83.17	83.14	83.13	
6	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,335 ~ - 68,336	1.73	(1.16)	1.54	83.17	-	83.14	83.16	-	
7	X=37,839 ~ 37,840 Y= - 68,339 ~ - 68,340	1.53	(0.80)	1.69	-	83.17	83.16	-	83.17	
8	X=37,828 ~ 37,830 Y= - 68,338 ~ - 68,339	1.96	1.05	1.68	83.16	83.16	83.15	83.16	83.16	
9	X=37,828 ~ 37,830 Y= - 68,336 ~ - 68,338	1.79	1.05	1.45	83.16	83.17	83.16	83.16	83.17	
10	X=37,828 ~ 37,830 Y= - 68,335 ~ - 68,336	1.30	(0.70)	1.51	83.17	83.16	83.16	83.14	83.14	
11	X=37,828 ~ 37,830 Y= - 68,334 ~ - 68,335	1.17	(0.69)	1.76	83.14	-	83.15	83.14	-	
12	X=37,827 ~ 37,828 Y= - 68,339 ~ - 68,340	0.55	(0.82)	(1.12)	-	83.16	-	-	-	
13	X=37,825 ~ 37,828 Y= - 68,338 ~ - 68,339	2.58	1.05	1.96	83.17	83.16	83.16	83.16	83.16	
14	X=37,825 ~ 37,828 Y= - 68,336 ~ - 68,338	2.72	1.27	1.91	83.14	83.14	83.16	83.16	83.16	
15	X=37,826 ~ 37,828 Y= - 68,335 ~ - 68,336	1.45	0.69	1.62	83.12	83.16	83.13	83.13	83.13	
16	X=37,826 ~ 37,828 Y= - 68,334 ~ - 68,335	1.36	0.85	1.31	83.12	83.16	83.13	83.13	83.13	
17	X=37,823 ~ 37,825 Y= - 68,337 ~ - 68,339	2.03	(1.03)	1.81	-	83.16	83.17	83.16	83.16	
18	X=37,823 ~ 37,826 Y= - 68,336 ~ - 68,337	2.10	1.30	2.02	83.16	83.16	83.16	83.16	83.16	
19	X=37,824 ~ 37,826 Y= - 68,333 ~ - 68,335	3.54	1.76	1.72	83.14	83.14	83.15	83.16	83.16	
20	X=37,822 ~ 37,823 Y= - 68,337 ~ - 68,338	0.20	(0.52)	(0.49)	-	83.15	-	-	-	
21	X=37,835 ~ 37,838 Y= - 68,315 ~ - 68,317	2.80	1.06	2.09	83.12	83.16	83.16	83.14	83.15	
22	X=37,833 ~ 37,835 Y= - 68,319 ~ - 68,321	2.54	1.14	1.90	83.15	83.15	83.14	83.16	83.15	
23	X=37,833 ~ 37,835 Y= - 68,318 ~ - 68,319	2.46	1.28	1.71	83.15	83.15	83.14	83.16	83.16	
24	X=37,834 ~ 37,835 Y= - 68,316 ~ - 68,318	2.48	1.37	1.53	83.16	83.16	83.17	83.16	83.16	
25	X=37,833 ~ 37,835 Y= - 68,314 ~ - 68,316	3.05	1.23	1.97	83.14	83.16	83.14	83.16	83.15	
26	X=37,834 ~ 37,836 Y= - 68,313 ~ - 68,314	1.33	1.02	(1.32)	-	-	83.16	83.14	83.14	
27	X=37,834 ~ 37,835 Y= - 68,310 ~ - 68,312	1.51	1.14	(1.59)	-	-	83.14	-	83.14	
28	X=37,834 ~ 37,835 Y= - 68,310 ~ - 68,311	1.98	1.21	(1.54)	-	-	83.14	83.14	83.13	
29	X=37,834 ~ 37,836 Y= - 68,308 ~ - 68,310	1.69	(0.95)	(1.55)	-	-	83.12	83.13	83.12	
30	X=37,830 ~ 37,833 Y= - 68,319 ~ - 68,320	2.39	1.04	1.89	83.15	83.14	83.13	83.13	83.13	
31	X=37,831 ~ 37,833 Y= - 68,317 ~ - 68,318	3.00	1.32	1.94	83.16	83.16	83.16	83.14	83.16	
32	X=37,831 ~ 37,834 Y= - 68,315 ~ - 68,317	2.99	1.38	1.95	83.16	83.16	83.16	83.16	83.16	
33	X=37,831 ~ 37,833 Y= - 68,313 ~ - 68,315	3.13	1.28	2.04	83.15	83.14	83.13	83.16	83.12	
34	X=37,832 ~ 37,834 Y= - 68,312 ~ - 68,314	1.99	(1.21)	1.94	83.13	-	83.16	83.14	-	
35	X=37,832 ~ 37,834 Y= - 68,310 ~ - 68,311	0.29	(0.53)	1.07	-	83.14	-	-	83.14	
36	X=37,831 ~ 37,834 Y= - 68,309 ~ - 68,311	2.36	1.14	1.81	83.14	83.14	83.12	83.12	83.14	
37	X=37,832 ~ 37,834 Y= - 68,308 ~ - 68,309	2.42	1.72	1.88	83.13	83.11	83.12	83.12	83.12	
38	X=37,828 ~ 37,831 Y= - 68,318 ~ - 68,320	2.35	1.11	1.72	83.12	83.12	83.11	83.14	83.14	

田番	グリッド	面積 (㎡)	東西 (㎡)	南北 (㎡)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
39	X=37,829 ~ 37,831 Y= - 68,317 ~ - 68,318	2.80	1.18	2.03	83.12	83.14	83.12	83.13	83.13	
40	X=37,829 ~ 37,832 Y= - 68,315 ~ - 68,317	3.10	1.40	1.94	83.14	83.15	83.13	83.16	83.12	
41	X=37,824 ~ 37,828 Y= - 68,317 ~ - 68,319	3.60	1.37	2.37	83.13	83.14	83.14	83.14	83.14	
42	X=37,828 ~ 37,829 Y= - 68,315 ~ - 68,316	1.07	1.53	(0.63)	83.16	83.13	-	-	-	
43	X=37,829 ~ 37,831 Y= - 68,313 ~ - 68,315	2.50	1.16	1.73	83.14	83.12	83.12	83.13	83.12	
44	X=37,829 ~ 37,832 Y= - 68,312 ~ - 68,313	2.09	(1.14)	2.09	83.13	-	83.14	83.13	83.13	
45	X=37,829 Y= - 68,311 ~ - 68,313	1.16	1.48	(0.76)	83.14	83.13	-	-	-	
46	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,311	1.37	(0.53)	2.00	-	83.11	83.12	-	83.12	
47	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,309 ~ - 68,310	1.51	1.27	(1.39)	83.13	83.13	83.12	-	-	
48	X=37,830 ~ 37,832 Y= - 68,308 ~ - 68,309	1.03	(0.96)	(1.38)	83.12	83.12	83.11	-	-	
49	X=37,820 ~ 37,821 Y= - 68,325 ~ - 68,326	0.22	(0.86)	(0.54)	-	-	-	-	83.13	
50	X=37,821 ~ 37,822 Y= - 68,324 ~ - 68,325	0.90	(1.05)	(1.08)	-	-	-	83.14	83.14	
51	X=37,821 ~ 37,822 Y= - 68,323 ~ - 68,324	1.14	(0.84)	(1.49)	-	-	-	83.14	83.14	
52	X=37,819 ~ 37,820 Y= - 68,325 ~ - 68,326	0.59	(0.73)	(1.35)	83.12	83.12	83.12	-	-	
53	X=37,819 ~ 37,820 Y= - 68,324 ~ - 68,325	1.57	0.96	1.69	83.13	83.13	83.13	83.13	83.13	
54	X=37,819 ~ 37,821 Y= - 68,323 ~ - 68,324	1.38	0.76	1.83	83.13	83.13	83.13	83.13	83.13	
55	X=37,817 ~ 37,819 Y= - 68,326 ~ - 68,328	1.51	1.03	1.77	83.12	83.12	83.12	-	-	
56	X=37,816 ~ 37,817 Y= - 68,325	0.44	0.67	1.51	-	-	-	-	83.13	
57	X=37,816 ~ 37,818 Y= - 68,324 ~ - 68,325	1.48	1.05	1.92	83.12	83.12	83.11	-	-	
58	X=37,816 ~ 37,818 Y= - 68,322 ~ - 68,323	1.07	0.72	2.10	83.12	83.12	83.11	-	83.11	
59	X=37,814 ~ 37,815 Y= - 68,328	0.21	(0.51)	(0.91)	-	83.11	-	-	-	
60	X=37,814 ~ 37,815 Y= - 68,326 ~ - 68,327	0.89	0.84	(1.02)	83.11	83.11	-	-	-	
61	X=37,814 ~ 37,815 Y= - 68,325 ~ - 68,326	1.23	0.95	(1.42)	83.12	83.12	-	-	-	
62	X=37,806 ~ 37,807 Y= - 68,322 ~ - 68,324	1.55	1.15	(1.41)	83.05	83.04	83.04	-	-	
63	X=37,806 ~ 37,807 Y= - 68,321 ~ - 68,322	0.34	(0.68)	(1.25)	83.06	-	-	-	-	
64	X=37,839 ~ 37,841 Y= - 68,298 ~ - 68,303	0.52	4.69	(0.95)	-	-	-	83.13	83.12	
65	X=37,835 ~ 37,840 Y= - 68,297 ~ - 68,302	20.46	4.36	5.03	83.09	83.10	83.07	83.08	83.04	
66	X=37,830 ~ 37,835 Y= - 68,297 ~ - 68,301	20.99	3.92	4.80	83.07	83.09	83.07	83.06	83.08	
67	X=37,824 ~ 37,830 Y= - 68,297 ~ - 68,301	19.30	3.68	5.05	83.07	83.07	83.04	83.04	83.03	
68	X=37,819 ~ 37,824 Y= - 68,297 ~ - 68,301	18.66	3.51	4.71	83.04	83.04	83.03	83.05	83.02	
69	X=37,813 ~ 37,819 Y= - 68,296 ~ - 68,301	20.50	3.63	5.12	83.05	83.03	83.03	83.03	83.02	
70	X=37,808 ~ 37,813 Y= - 68,294 ~ - 68,299	15.51	2.63	4.87	83.03	83.02	82.99	82.98	82.98	
71	X=37,802 ~ 37,808 Y= - 68,294 ~ - 68,298	20.27	3.38	5.59	82.96	82.96	82.89	82.90	82.91	
72	X=37,841 ~ 37,842 Y= - 68,293 ~ - 68,297	2.83	(1.14)	5.04	-	-	82.97	83.06	83.03	
73	X=37,838 ~ 37,841 Y= - 68,292 ~ - 68,297	14.57	4.43	2.85	83.09	83.00	82.96	83.02	83.00	
74	X=37,838 ~ 37,843 Y= - 68,288 ~ - 68,292	17.72	4.01	(4.18)	83.06	83.06	83.06	83.03	83.06	
75	X=37,834 ~ 37,838 Y= - 68,290 ~ - 68,297	21.37	5.80	3.25	83.00	83.01	82.93	83.05	83.02	
76	X=37,835 ~ 37,838 Y= - 68,288 ~ - 68,290	8.65	2.46	3.04	83.01	83.04	83.02	83.03	83.04	
77	X=37,831 ~ 37,834 Y= - 68,290 ~ - 68,297	19.78	5.95	3.01	83.01	83.01	82.89	83.03	83.00	

田面	グリッド	面積 (㎡)	東西 (㎡)	南北 (㎡)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
78	X=37.831 ~ 37.835 Y= - 68.288 ~ - 68.290	8.45	2.34	3.35	83.03	83.04	83.02	83.01	83.04	
79	X=37.827 ~ 37.831 Y= - 68.291 ~ - 68.296	20.08	5.26	3.30	83.02	83.01	82.89	83.04	82.99	
80	X=37.828 ~ 37.831 Y= - 68.288 ~ - 68.290	4.90	1.23	2.99	82.98	83.06	83.03	82.98	83.03	
81	X=37.823 ~ 37.827 Y= - 68.291 ~ - 68.296	14.53	(3.95)	3.32	82.96	82.93	82.84	82.92	82.92	
82	X=37.823 ~ 37.827 Y= - 68.289 ~ - 68.291	4.92	1.05	(4.09)	82.98	83.00	82.96	82.95	82.98	
83	X=37.818 ~ 37.823 Y= - 68.290 ~ - 68.295	25.05	4.68	4.63	82.91	82.96	82.79	82.91	82.98	
84	X=37.812 ~ 37.817 Y= - 68.291 ~ - 68.293	6.69	1.40	4.93	82.81	82.81	82.79	82.79	82.78	
85	X=37.806 ~ 37.812 Y= - 68.291 ~ - 68.293	7.33	1.02	6.10	82.74	82.76	82.76	82.73	82.71	
86	X=37.801 ~ 37.806 Y= - 68.291 ~ - 68.293	5.10	1.17	4.41	82.73	82.73	82.73	82.73	82.73	
87	X=37.795 ~ 37.801 Y= - 68.289 ~ - 68.291	5.43	0.87	5.29	82.69	82.69	82.67	82.68	82.68	
88	X=37.789 ~ 37.795 Y= - 68.288 ~ - 68.290	4.81	0.72	5.44	82.69	82.68	82.69	82.66	82.65	
89	X=37.785 ~ 37.789 Y= - 68.288 ~ - 68.290	5.58	1.39	4.03	82.63	82.63	82.64	82.66	82.67	
90	X=37.780 ~ 37.785 Y= - 68.288 ~ - 68.289	3.91	0.83	4.65	82.63	82.62	82.62	82.63	82.63	
91	X=37.776 ~ 37.780 Y= - 68.288 ~ - 68.289	2.96	0.83	(3.72)	82.62	82.62	82.59	-	-	
92	X=37.795 ~ 37.797 Y= - 68.296 ~ - 68.297	0.79	(0.60)	(1.95)	-	-	-	-	82.97	
93	X=37.795 ~ 37.797 Y= - 68.294 ~ - 68.296	3.83	1.44	2.14	82.90	-	82.93	82.93	-	
94	X=37.792 ~ 37.794 Y= - 68.296 ~ - 68.297	1.98	(0.90)	2.08	-	82.96	82.96	-	82.96	
95	X=37.792 ~ 37.795 Y= - 68.294 ~ - 68.295	3.11	1.44	2.04	82.94	-	82.92	82.90	-	
96	X=37.791 ~ 37.792 Y= - 68.296	0.57	(0.83)	1.78	-	82.90	-	-	-	
97	X=37.790 ~ 37.792 Y= - 68.294 ~ - 68.295	1.96	(0.98)	1.71	82.94	-	82.92	82.92	-	
98	X=37.788 ~ 37.791 Y= - 68.294 ~ - 68.295	1.63	(1.11)	1.69	82.90	-	82.88	82.91	-	
99	X=37.787 Y= - 68.299	0.32	(0.72)	(0.71)	-	82.96	-	-	-	
100	X=37.785 ~ 37.787 Y= - 68.296 ~ - 68.298	3.12	1.60	1.63	82.97	82.95	82.94	82.95	82.93	
101	X=37.786 ~ 37.787 Y= - 68.295 ~ - 68.296	2.27	1.26	1.47	82.93	82.93	82.92	82.93	82.92	
102	X=37.786 ~ 37.788 Y= - 68.292 ~ - 68.295	2.88	(2.21)	1.48	82.91	82.89	82.89	82.90	82.89	
103	X=37.783 ~ 37.785 Y= - 68.297 ~ - 68.298	2.81	1.48	2.06	82.92	82.93	82.93	-	82.92	
104	X=37.783 ~ 37.786 Y= - 68.295 ~ - 68.296	3.96	1.45	2.31	82.92	82.91	82.91	82.91	82.91	
105	X=37.783 ~ 37.786 Y= - 68.292 ~ - 68.294	5.31	2.04	2.20	82.90	82.88	82.88	82.91	82.89	
106	X=37.780 ~ 37.783 Y= - 68.295 ~ - 68.296	4.30	1.37	2.56	82.91	82.90	82.89	82.91	82.89	
107	X=37.780 ~ 37.783 Y= - 68.292 ~ - 68.294	5.51	1.80	2.60	82.87	82.89	82.88	82.86	82.87	
108	X=37.779 ~ 37.780 Y= - 68.293 ~ - 68.294	1.59	1.51	(1.24)	82.88	82.84	82.85	-	-	

3 第1面 (As-B 軽石下水田)

(1) 水田 (第39～55回、第4・5表、PL15～23)

被覆層と水田の残存状況 嘉承三年、天仁元年(1108)の浅間山噴火を起因とするAs-B軽石堆積層により被覆された水田面が確認された。As-B軽石堆積は調査区全域で確認され、層厚は6～10cmを測る。調査区の中央部を東西方向に走向する坪境の畦畔が1条、と坪内にそれぞれの水田を区画する畦畔16条を確認。畦畔は水田面からの高さもあり残存は良好である。

水田域の地形 確認された水田面は西から東、北から南へ緩やかに低くなる。調査区四隅の比高差は北側東西で0.12m、南側東西で0.10m、西側南北で0.24m、東側南北で0.22m、北西から南東の比高差は0.34mとなっている。

畦畔の走向と区画 調査区中央部を東西に横断する坪境の大畦畔を1条、坪内の水田を区画する南北畦畔7条、東西畦畔9条、計17条の畦畔を検出した。大畦畔の規模は確認長53.62m、上幅0.71～1.10m、下幅1.19～1.46m、水田面との比高差約0.05m、断面形状は浅い弧状を呈する。高さはないものの、他の畦畔と比較しても幅は大型であることがわかる。水田の検出には至っていない。坪内を区画する畦畔は平均上幅0.30m、下幅0.50m、断面形状は浅い山形を呈する。畦畔Pは他の畦畔と交わらないことや位置関係からやや異質に感じる。取配水に関係する畦畔の可能性が考えられる。水田区画は大畦畔と坪内畦畔によって20の水田面に分かれる。H面形状は方形が多く、長方形の区画(水田面8・18)も少数であるが散見される。

耕作土 締まりの強い黒褐色土として確認。層厚は3～5cmを測る。水田耕作土表層に耕作が行われていなかったことを示す黒色帯は確認されなかった。

取配水の方向 今回の調査では水口は調査区南側中央の1箇所のみ確認されている。大畦畔に水口が備わっていない事や水田面の傾斜を考慮すると、それぞれの坪内で北から南へ、西から東へ配水されていたと考えられる。

足跡 As-B軽石除去後、楕円～円形状の凹凸が列状に並ぶ痕跡を確認した。その形状から牛馬と考えられる直線的な足跡列と判断した。人と考えられる足跡は確認できなかった。走向軸から主に東西方向(N-86°-96°-W)と北西-南東方向(N-38°-51°-W)の2つに分類される。その他にも列状にはならない足跡と思われる多数の凹凸が散見される。確認された範囲は調査区東側と南側である。

耕作具痕 調査区北西隅部を中心に耕作具痕を確認した。覆土中にAs-B軽石を含むことからAs-B軽石降下後に耕作された痕跡と考えられる。耕作具痕はほぼ全て半円形の形状を呈していることから、鋤鍬先の差し込み跡と想定される。耕作具痕同士が切り合うものが少ないことから、反復されたものではなく1回の耕作耕作行動の所産と考えられる。形状の方向から判断すると主に北側から地面に突き刺し、南側へ向かって掘り起こされている。

出土遺物 全体的に遺物は少なく、須臾器・土師器の小破片が出土している。畦畔上(畦畔F・O)から置石が2点出した(第43・49回)。

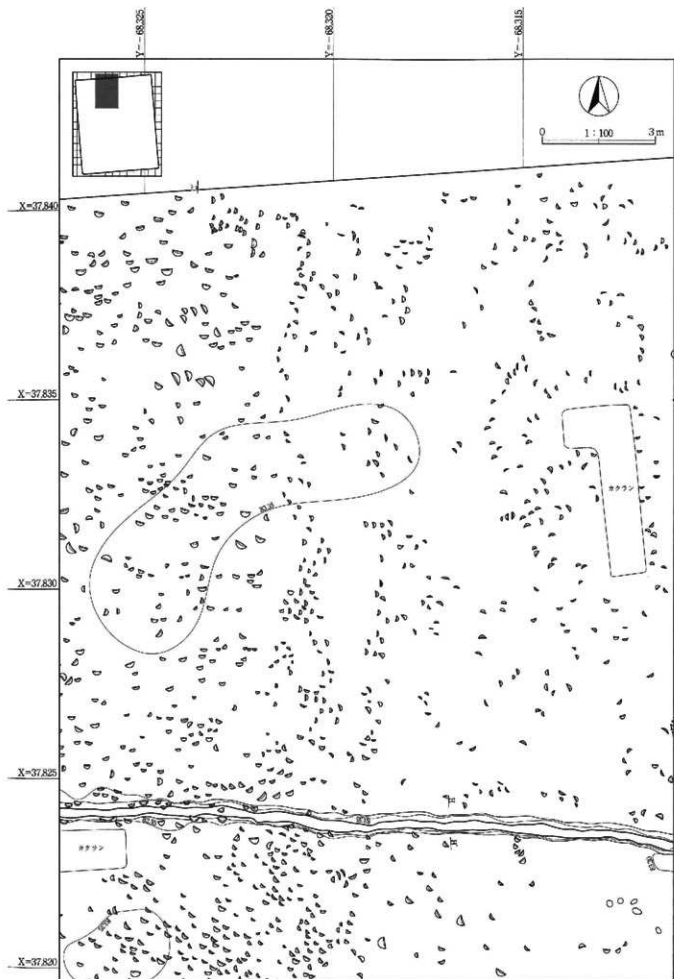
備考 調査区東側で溝状に浅く窪んでいるのは、第2面SD1および第3面のSD3の影響により沈下しているためである。



第39图 第1面全体图



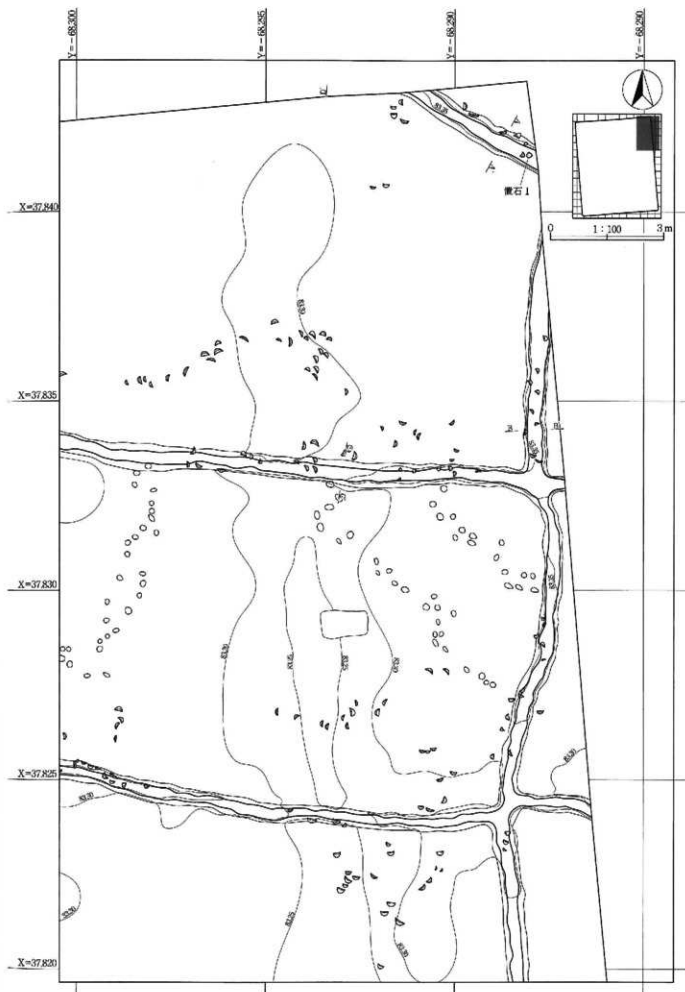
第40図 AsB 軽石下水田平面図(1)



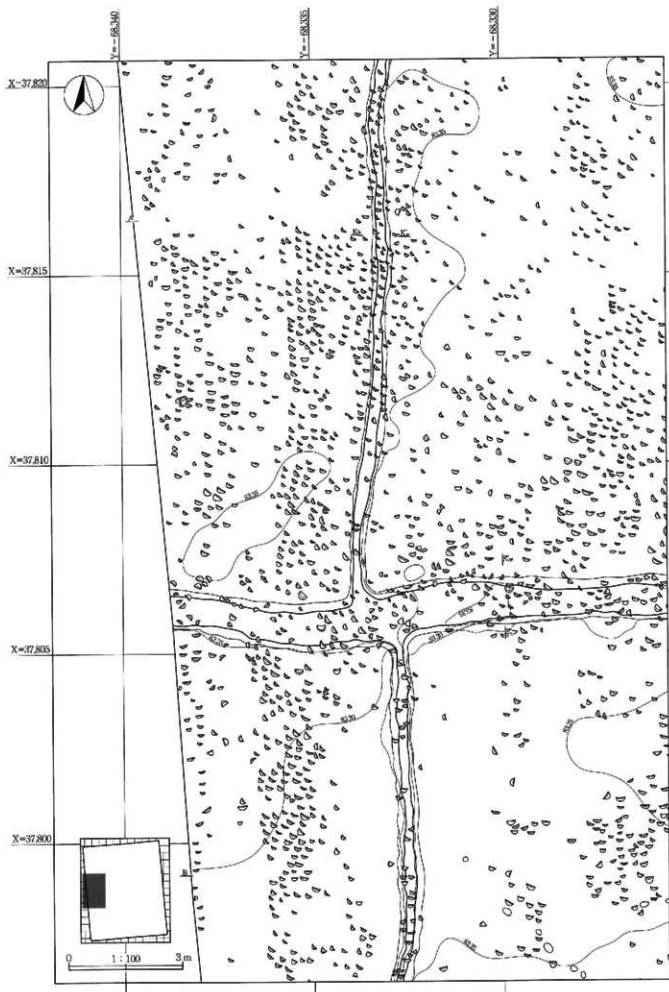
第41図 As-B 軽石下水田平面図(2)



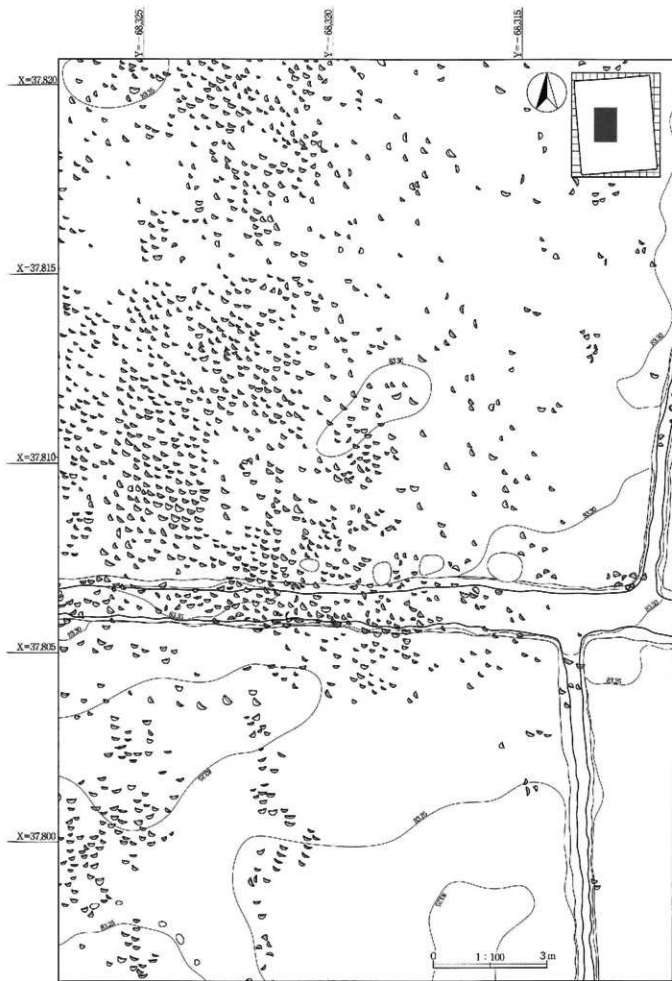
第42図 As-B 軽石下水山平面図(3)



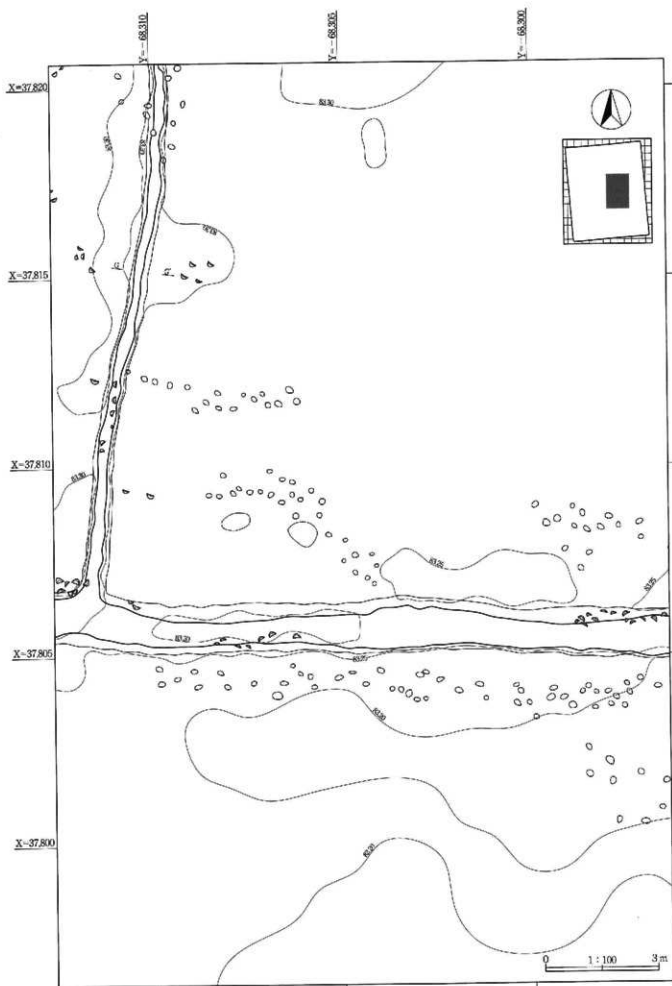
第43図 A-B 軽石下水山平面図(4)



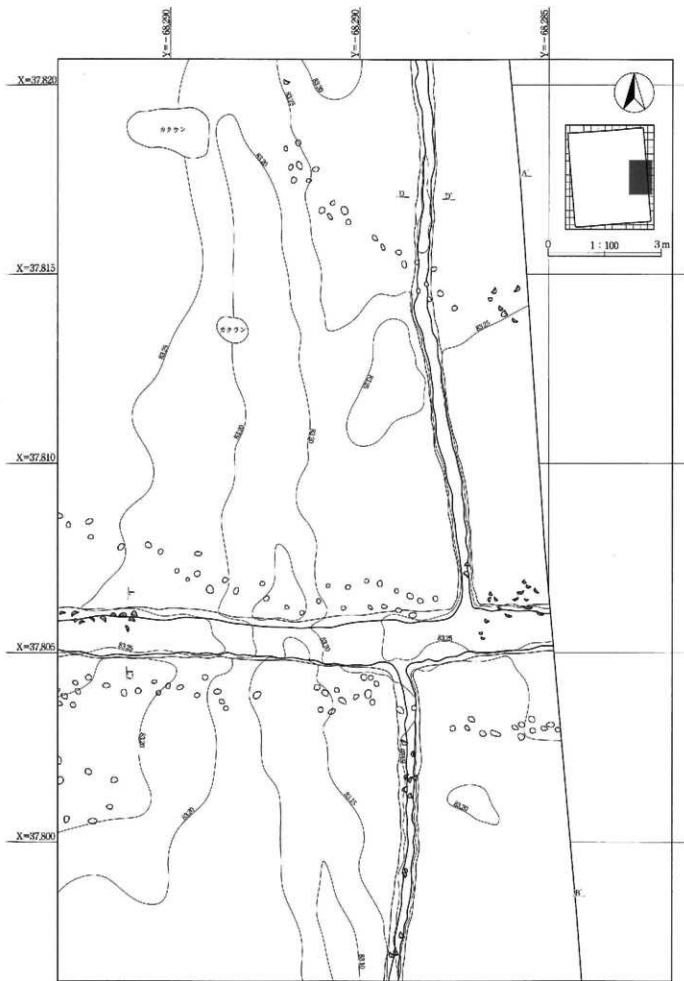
第44圖 As-B 軽石下水田平面図(5)



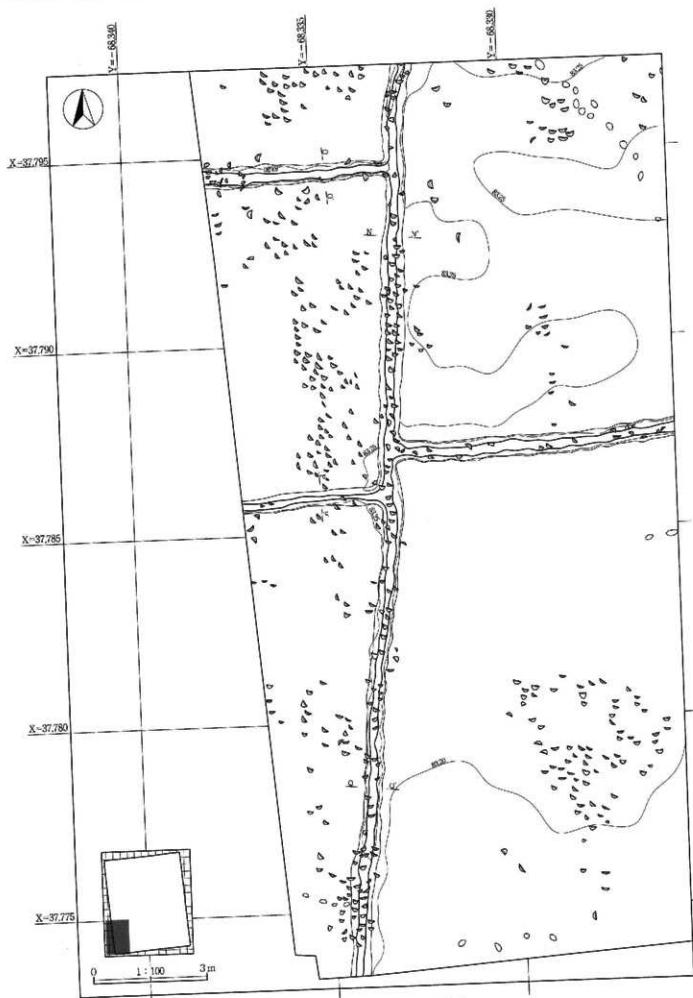
第 45 図 As-B 軽石下水田平面図 (6)



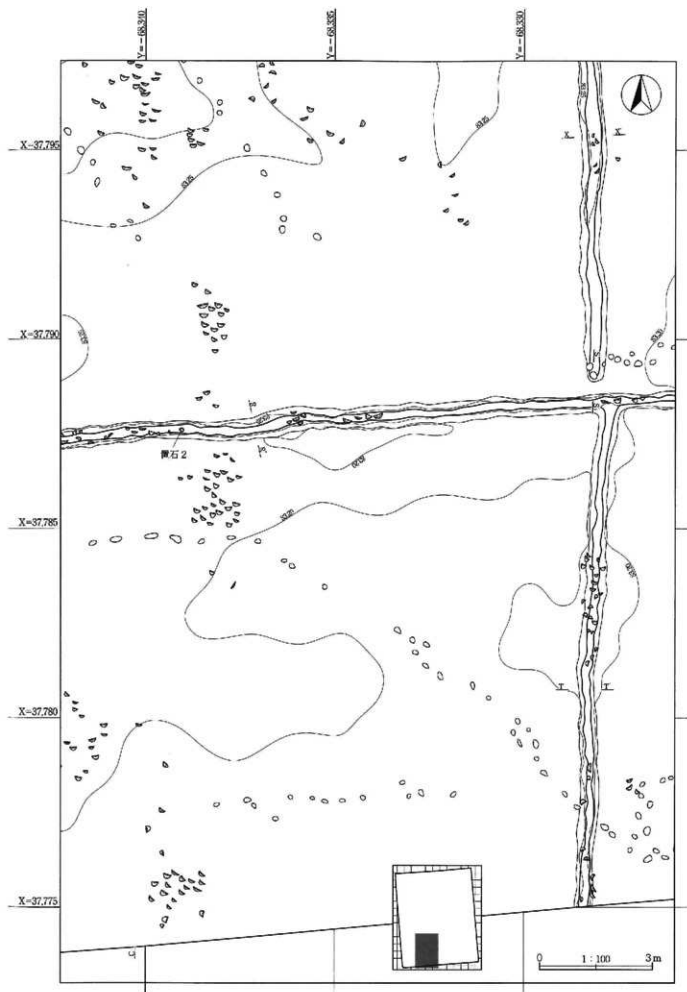
第46图 As-B 輕石下水山平面图(7)



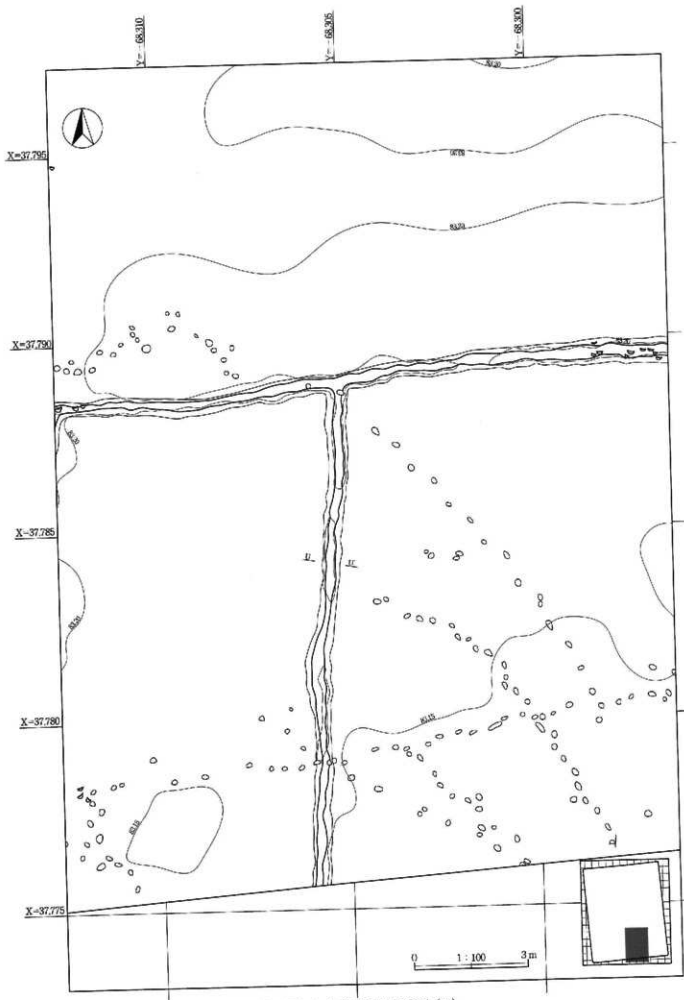
第47図 As-B 軽石下水山平面図(8)



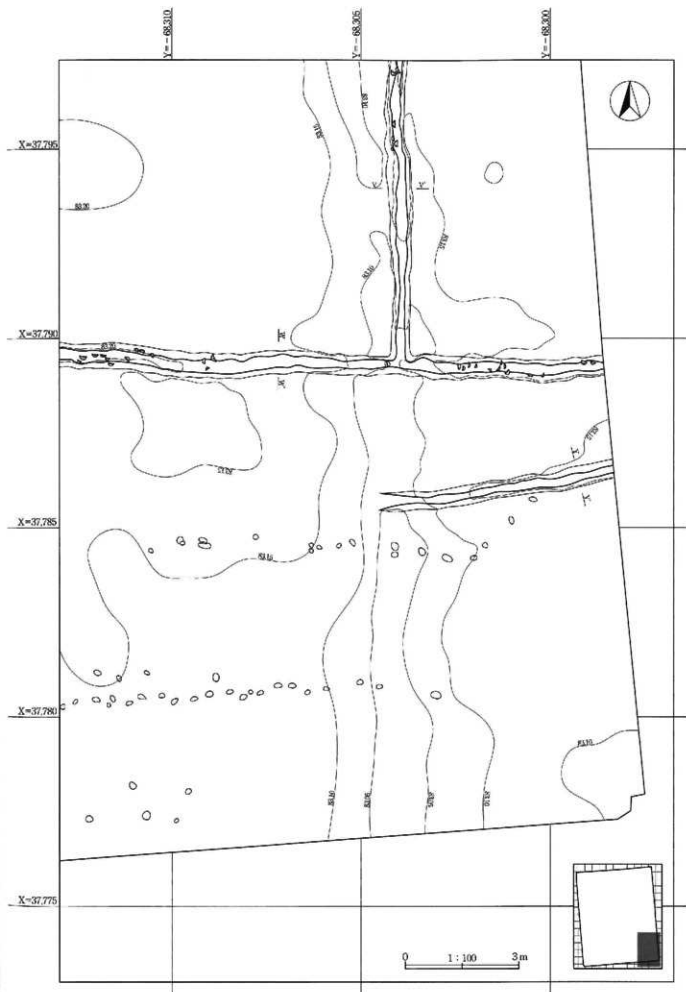
第48图 As-B 排水下水田平面图(9)



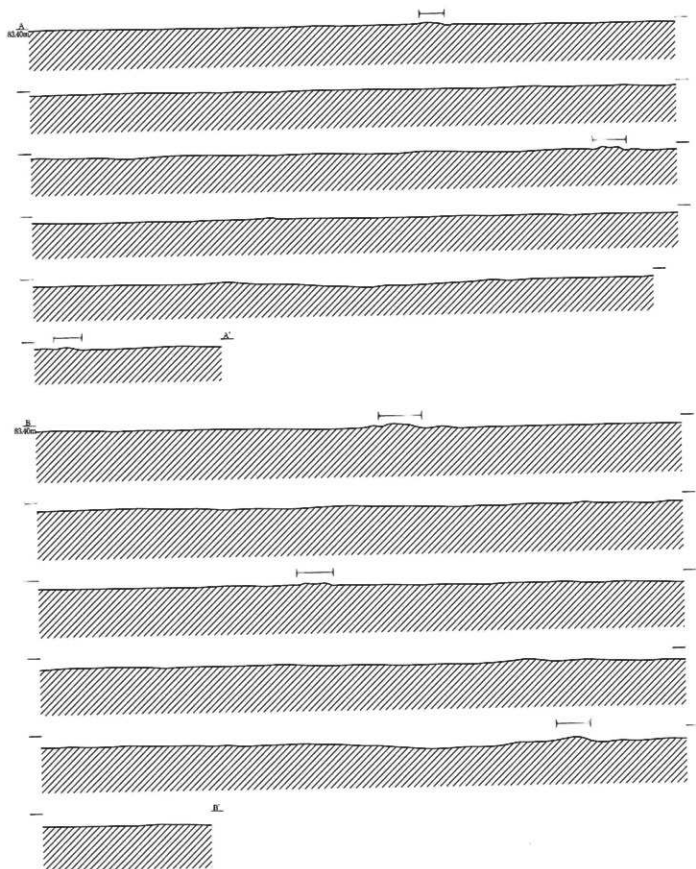
第 49 図 As-B 軽石下水田平面図 (10)



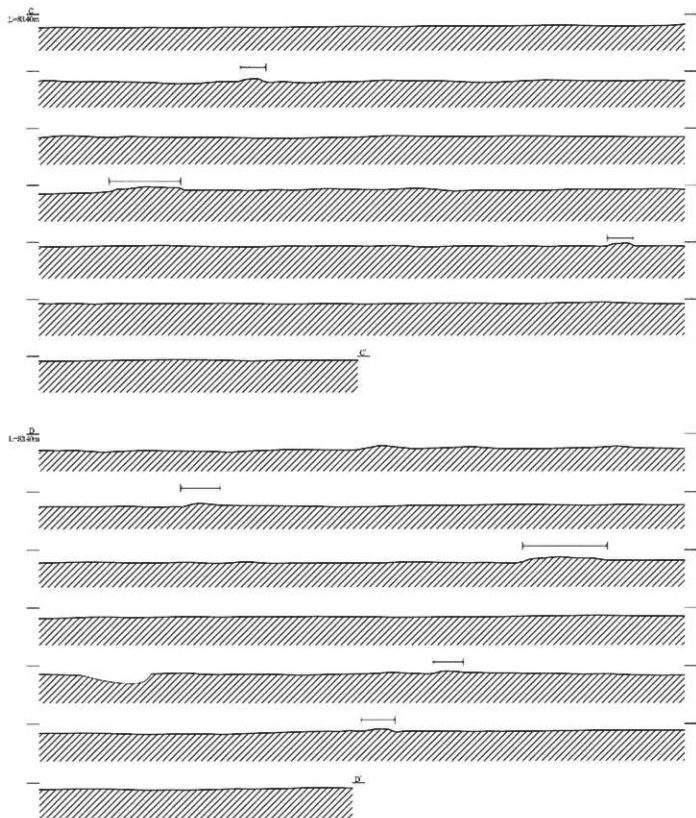
第 50 圖 As-B 轉石下水田平面圖 (11)



第51図 As-B 軽石下水田平面図 (12)

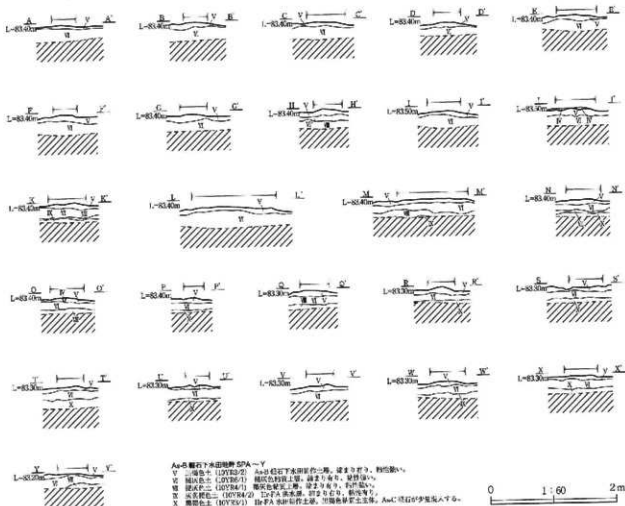


第 52 図 A-B 鞋石 F 水田断面図 (1)

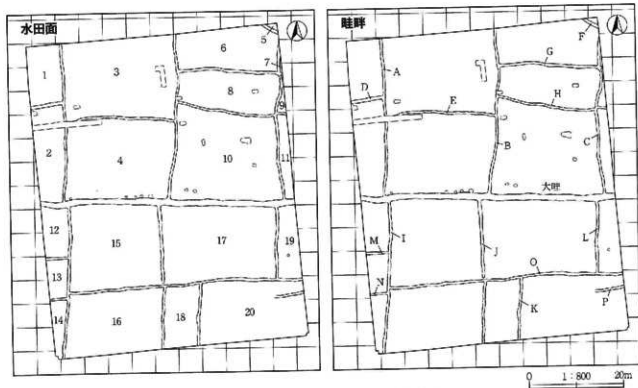


第 53 图 As-B 砵石下水田断面图 (2)

0 1:60 2m



第 54 図 As-B 軽石下田断面図 (3)



第 55 図 As-B 軽石下田面・畦畔名称図

第4表 A-B 軽石下水位計測表

面番	グリッド	面積 (㎡)	東西 (㎡)	南北 (㎡)	標高 (m)					備考
					NW	NE	中央	SW	SE	
1	X=37,826 ~ 37,839 Y=-68,333 ~ -68,341	(89.76)	(7.56)	(12.41)	-	-	83.44	-	83.38	
2	X=37,806 ~ 37,827 Y=-68,333 ~ -68,340	(119.24)	(7.31)	20.56	-	83.38	83.36	-	83.36	
3	X=37,823 ~ 37,841 Y=-68,309 ~ -68,333	(399.77)	24.05	(16.76)	-	-	83.33	83.36	83.32	
4	X=37,806 ~ 37,823 Y=-68,309 ~ -68,333	375.27	22.88	17.82	83.34	83.32	83.33	83.34	83.31	
5	X=37,841 ~ 37,843 Y=-68,287 ~ -68,290	(2.61)	(2.73)	(1.98)	-	-	-	83.32	-	
6	X=37,833 ~ 37,843 Y=-68,287 ~ -68,309	(186.84)	22.16	(9.96)	-	83.34	83.32	83.34	83.31	
7	X=37,832 ~ 37,836 Y=-68,287 ~ -68,287	(1.43)	(0.94)	(3.67)	-	-	-	83.32	-	
8	X=37,824 ~ 37,833 Y=-68,287 ~ -68,309	174.69	21.41	8.89	83.34	83.32	83.31	83.31	83.30	
9	X=37,824 ~ 37,832 Y=-68,286 ~ -68,288	(7.65)	(2.08)	8.15	83.32	-	-	83.32	-	
10	X=37,805 ~ 37,836 Y=-68,287 ~ -68,311	420.80	19.29	22.20	83.31	83.30	83.27	83.27	83.24	
11	X=37,806 ~ 37,824 Y=-68,284 ~ -68,288	(41.22)	17.86	(2.48)	83.27	-	-	83.24	-	
12	X=37,794 ~ 37,805 Y=-68,332 ~ -68,338	(60.26)	(6.02)	10.47	-	83.32	83.31	-	83.27	
13	X=37,785 ~ 37,794 Y=-68,332 ~ -68,337	(36.39)	(4.68)	8.74	-	83.27	83.26	-	83.26	
14	X=37,773 ~ 37,785 Y=-68,333 ~ -68,337	(33.40)	(3.88)	(12.42)	-	83.23	-	-	-	
15	X=37,787 ~ 37,805 Y=-68,313 ~ -68,332	346.22	18.86	17.83	83.27	83.27	83.26	83.24	83.22	
16	X=37,773 ~ 37,788 Y=-68,312 ~ -68,334	(272.86)	20.28	(13.59)	83.23	83.22	83.18	-	-	
17	X=37,788 ~ 37,805 Y=-68,288 ~ -68,313	385.75	24.52	15.39	83.23	83.19	83.19	83.20	83.18	
18	X=37,775 ~ 37,788 Y=-68,305 ~ -68,313	(96.58)	7.19	(12.84)	83.19	83.17	83.17	-	-	
19	X=37,789 ~ 37,805 Y=-68,283 ~ -68,288	(70.74)	(5.12)	15.61	83.18	-	83.18	83.16	-	
20	X=37,775 ~ 37,789 Y=-68,282 ~ -68,305	(284.73)	(22.85)	12.74	83.17	-	83.11	-	-	

第5表 A-B 軽石下水位計測表

畦畔	グリッド	主軸方向	畦畔長 (m)	畦畔高 (m)	畦畔の 断面形状	上幅 (m)	下幅 (m)	備考
大畦畔	X=37,806 ~ 37,839 Y=-68,332 ~ -68,334	N 90°-W	53.62	0.05	逆台形	1.10	1.46	
A	X=37,806 ~ 37,839 Y=-68,332 ~ -68,334	N 1°-W	33.41	0.05	浅い弧状	0.32	0.47	
B	X=37,806 ~ 37,841 Y=-68,306 ~ -68,311	N 3°-E	35.17	0.04	浅い弧状	0.29	0.47	
C	X=37,806 ~ 37,839 Y=-68,286 ~ -68,288	N 2°-W	32.14	0.04	浅い弧状	0.29	0.59	
D	X=37,826 ~ 37,827 Y=-68,333 ~ -68,340	N 83°-E	6.92	0.08	浅い弧状	0.41	0.75	
E	X=37,823 ~ 37,824 Y=-68,309 ~ -68,331	N 88°-W	21.33	0.06	浅い弧状	0.30	0.50	
F	X=37,840 ~ 37,843 Y=-68,288 ~ -68,291	N 86°-W	3.53	0.05	浅い弧状	0.29	0.76	
G	X=37,832 ~ 37,834 Y=-68,289 ~ -68,306	N 81°-W	21.97	0.05	浅い弧状	0.27	0.69	
H	X=37,823 ~ 37,827 Y=-68,286 ~ -68,309	N 63°-W	23.00	0.05	浅い弧状	0.27	0.57	
I	X=37,773 ~ 37,805 Y=-68,332 ~ -68,334	N 4°-E	32.14	0.04	浅い弧状	0.24	0.41	
J	X=37,775 ~ 37,805 Y=-68,312 ~ -68,314	N 1°-W	29.94	0.04	浅い弧状	0.25	0.49	
K	X=37,773 ~ 37,788 Y=-68,304 ~ -68,306	N 4°-E	13.17	0.05	浅い弧状	0.35	0.71	
L	X=37,789 ~ 37,804 Y=-68,288 ~ -68,289	N 1°-E	15.13	0.03	浅い弧状	0.24	0.55	
M	X=37,794 Y=-68,332 ~ -68,337	N 89°-W	4.66	0.04	浅い弧状	0.24	0.54	
N	X=37,785 ~ 37,786 Y=-68,333 ~ -68,337	N 87°-W	3.80	0.03	浅い弧状	0.19	0.41	
O	X=37,786 ~ 37,789 Y=-68,283 ~ -68,332	N 86°-E	49.39	0.06	浅い弧状	0.38	0.66	
P	X=37,785 ~ 37,786 Y=-68,283 ~ -68,289	N 82°-E	6.04	0.03	浅い弧状	0.21	0.48	

第6章 まとめ

今回の調査で古墳時代の水田1面(Hr-FA 洪水層下水田)と平安時代の水田(As-B 軽石下水田)1面、合計2面の水田が確認された。As-B 軽石下水田は良好な状態であったが、Hr-FA 洪水層下水田は南に隣接する萩原沖中遺跡10と同様に遺存状態が不良であった。また第3面では古墳時代前期の水路が検出され、土器や木杭が出土している。ここでは今回の調査成果を基に周辺遺跡の調査事例と照らし合わせて各調査面について概観し、若干の検討を加えまとめとしたい。

1 第3面(As-C 軽石混土層下面)

今回の調査で溝が1条確認された(SD 3)。断面逆台形を呈するこの溝は直線的に延びることや、面取りされた木杭が複数箇所打ち込まれていることから、人工的に掘削された水路と考えられる。水が絶えず流れていたのだろうか、土層断面の観察で砂を多く含む細土が互層状にみられる。遺構の年代は出土遺物から古墳時代前期と想定される。西横手遺跡群Ⅰ・Ⅱではこの溝の南側延長部が確認されている(第56図)。先行する「2号水路」の後、「1号水路」として再度掘削されたものとして2時期の水路として報告されている。水路址の規模は上端幅22m前後、深さ0.7m前後で断面逆カマボコ形を呈している。出土遺物はS字口縁台付甕、高坏、器台を中心に面取りされた木杭、農具が出土している。遺構形状や出土遺物は本遺跡のSD 3と同じ様相を示している。

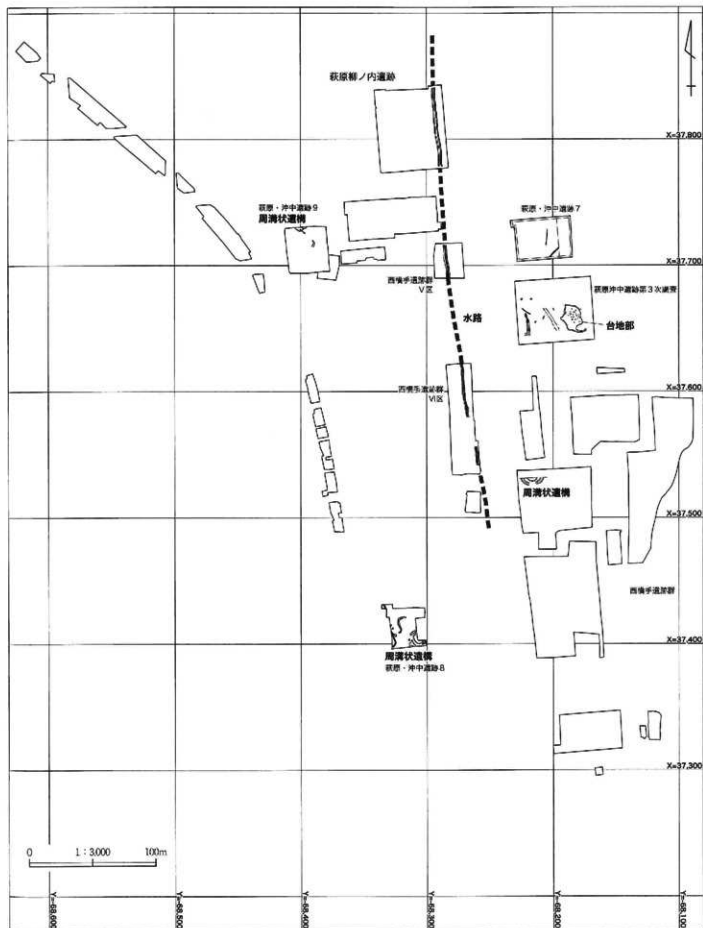
萩原町周辺の遺跡では古墳時代前期に帰属する遺構が少数ではあるが検出されている。本遺跡南西側の萩原沖中遺跡9では浅い弧状の溝と土橋状に残された未掘部からなる周溝状遺構が1基確認されている。西横手遺跡群や萩原沖中遺跡8でも同様な形状の周溝状遺構(周溝墓含む)が確認されている。西横手遺跡群では調査区壁際であるため全体像の把握ができていないが、隅丸あるいはP形の周溝墓と想定されている。周溝内にはマウンドを持ち、出土遺物はS字口縁台付甕・単口縁台付甕・高坏・甕等が出土している。萩原沖中遺跡8では周溝状遺構として5基検出されており、出土遺物はS字口縁台付甕を中心とした古墳時代前期の遺物が出土している。本遺跡では建物跡等は検出されなかったが、周辺遺跡で古墳時代前期の集落が散在的に分布していることから、本遺跡で確認された水路(SD 3)はこれらの集落や周辺に存在するであろう水田や畠等の生産地域へ水を供給する役を担っていたと推測される。

2 Hr-FA 洪水層下水田

5世紀末から6世紀初頭の榛名山の噴火に起因するHr-FA洪水層に被覆された水田は調査区東側のSD 1周辺や北西側の一部で検出されたが、全体的に遺存状態は良好ではない。水田面が確認されなかった場所は上層の洪水層に影響を受けたことにより畦畔が削平されたためと考えられる。本遺跡の南側に位置する萩原沖中遺跡9や萩原沖中遺跡10でも同じ状況が見られることから、本遺跡周辺が洪水の大きな影響を受けた場所であったことが考えられる。

今回の調査で特筆される点は「畦畔に挟まれた中規模水路」が確認されたことである。この水路は西横手遺跡群Ⅵ区で確認されており、この北側の延長部分が本遺跡の水路(SD 1)にあたる。萩原沖中遺跡10ではこの水路の西側畦畔と水路へと傾斜する地形が確認されている。下層で確認されたSD 3と同じラインを指向することから、SD 3の埋没途中であった浅い溝を利用し、水路として再構築したと考えられる。SD 3と同様、生産地域への配水という重要な役割を果たしていたと推測される。

中規模水路内の水田面は比較的平坦で、畦畔も低い。調査時は湧水が激しい時期であったため、水路内は常に水が流れていた。水路の傾斜も緩やかであるため流れは遅く、水田内には水が滞留し溢れた水は畦畔を越えて下



第56図 本道跡周辺のAs-C軽石混土層下の遺構

流の水田面へと流れてゆく様子がみられた。

3 As-B 軽石下水田

嘉承三年、天仁元年(1108)、浅間山から降下した As-B 軽石に覆われた水田が検出された。As-B 軽石の堆積層は調査区全域で確認され、畦畔の残存も良好であった。本遺跡周辺は As-B 軽石下水田の確認事例が多いことから「条里型水田」の検討が進んでいる地域である。

(1) 水田区画

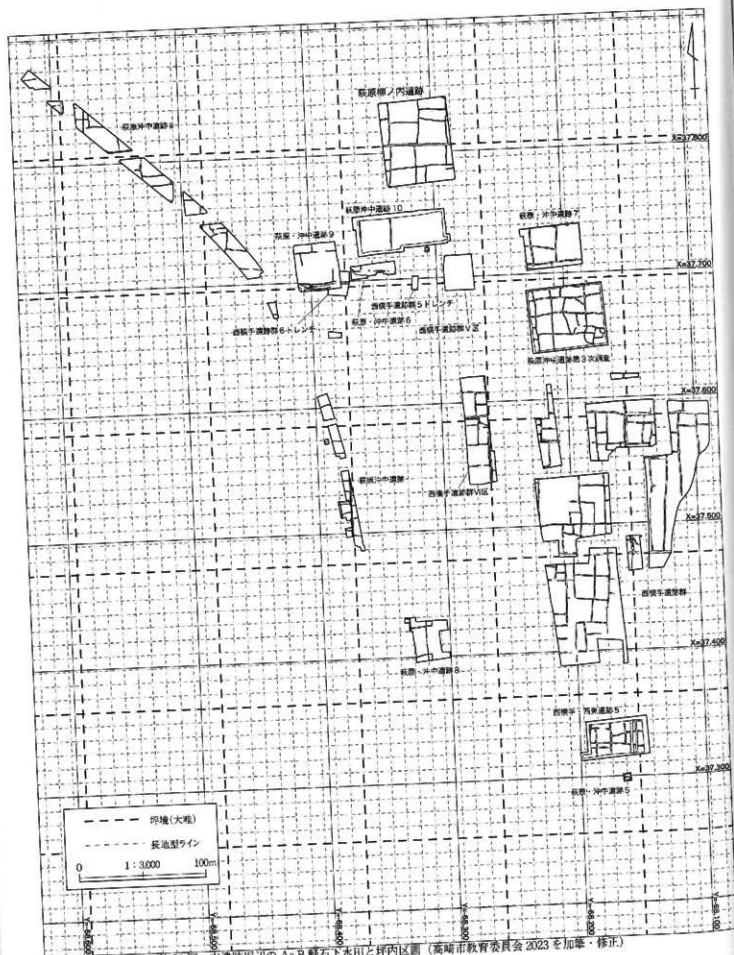
坪境については西横手遺跡群や萩原沖中遺跡等で検出された南北・東西畦畔から一辺 108～110 m 幅とする 1 町方格地割が想定されており、これを基に本遺跡周辺の条里型地割を示したものが第 58 図である。今回の調査では東西方向に走向する大畦畔と坪境内の水田を区画する畦畔が確認された。大畦畔は坪境想定ライン上に位置することから、正確な地割が行われていたことわかる。

周辺遺跡の坪内の区画は長地型・半折型や向者に属さない区画が混在している。その状況から「(中略) 制度としてではなく、耕作する際の単位として継承された可能性がある^[1]」ことが指摘されている。今回の調査でも方形のものが主体を占め、長方形の区画も少数確認できることから、長地型・半折型どちらと判別するには困難である。西横手遺跡群や萩原沖中遺跡第 3 次調査、西横手・西免遺跡 5 では不連続に設定された坪区画内の畦畔が多くみられ、本遺跡の様相と同じ状況がみられる。

本遺跡と隣接遺跡の畦畔との関連性について考察してみたい。本遺跡の水田区画は中央を東西に走向する大畦畔によって北と南の水田区画に分かれる。南の水田区画は萩原沖中遺跡 10 や萩原・沖中遺跡 6 と同じ坪内に属する。第 59 図は本遺跡で確認された畦畔と萩原沖中遺跡 10 で確認された畦畔の関係を示したものである。畦畔 B は本遺跡の大畦畔から南へ直線的に延び、萩原沖中遺跡 10 の畦畔と合致する。萩原沖中遺跡 6 ではこの畦畔 B の延長部分にあたる場所がカクランによって消失し確認できなかった。しかしこの畦畔の 1 条西側の南北方向に走向する畦畔 A が萩原沖中遺跡 10 と萩原沖中遺跡 6 とで繋がり同一の畦畔と考えられることから、畦畔 B も同様に萩原沖中遺跡 6 まで延びていたと推測される。本遺跡大畦畔から延びる南北畦畔 C も萩原沖中遺跡 10 へ延びると考えられる。萩原沖中遺跡 10 では畦畔の遺存状況が不良で確認することはできなかったが、南北畦畔が比較的直線的に途切れることなく延びることや、畦畔 A・B との畦畔間隔と合致することから畦畔 C を想定することとした。坪内を約 108～110 m 幅とした場合、西側南北大畦畔から畦畔 A 間が 13.5 m、畦畔 A・B 間：24.15 m、畦畔 B・C 間：約 21.40 m となり畦畔 C から東側南北大畦畔までは約 49.50 m となる。南北畦畔の間隔が 21～24 m となることから、畦畔 C - 東側南北大畦畔の間に南北方向の畦畔が 1 条(畦畔 D) あった可能性が考えられる。しかし、本遺跡の大畦畔から南へ延びる最も東側の南北畦畔が位置的にはこの畦畔とラインが合致するが、東西畦畔と交差する所で途切れてしまっている。興味深いのがこの途切れている箇所が下層の SD 1・3 によって浅い溝状に窪んでいる事である。このような地形の影響で構築されなかったのであろうか。いずれにしても周辺状況だけの推測であり、確証がないため畦畔 D は推定される畦畔として今回の報告で提示しておきたい。坪内の区画は様々な形が存在し、統一性が許されていないことも多いが、本遺跡周辺ではある程度南北方向の畦畔に規制されて水田区画が設定されている様相が感じられる。

(2) 取配水

萩原地域で確認された水田への取配水に関わる水路(溝)は坪境に沿って走向している。2 本の大畦畔に挟まれた間を流れる水路は東西方向と南北方向のものとに分けられる。本調査で確認された大畦畔には水路が備わっていなかったが、この大畦畔から一区画南の大畦畔では東西方向の水路が確認されている。東西方向に対して南北方向の水路が多いのは、北から南へと傾斜する自然地形に合わせて、下流域へ効率良く配水ができるようにするためだと考えられる。

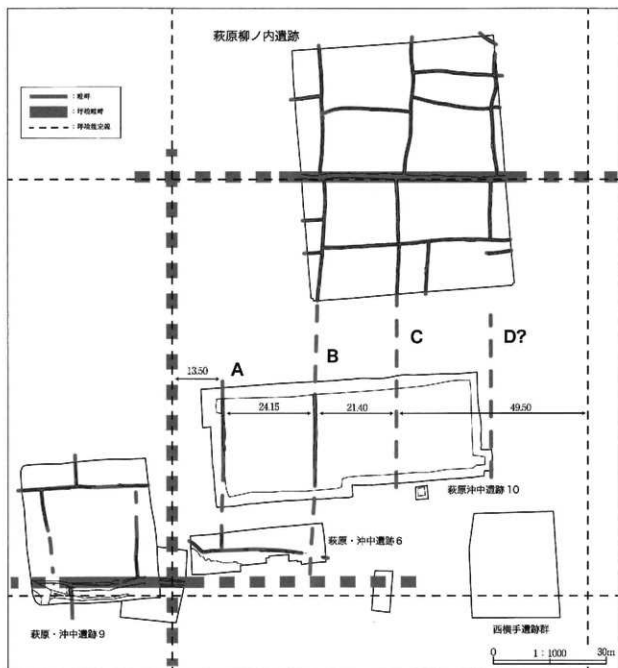


(3) 耕作具痕

調査区北西部を中心に耕作具痕が検出された。本遺跡周辺で耕作具痕が確認されている遺跡は、萩原沖中遺跡、萩原沖中遺跡3、萩原沖中遺跡6、萩原沖中遺跡10、西横手・西免遺跡5の5遺跡である。全遺跡共通して痕跡同士は切り合っていることが少ないため1回の耕作耕作行動の所産と考えられる。As-B 軽石降下後、災害から復興しようとする人々が耕作を再開していった様子がこの痕跡から読み取ることができる。

註

1. 前田和昭 2013 「第9章 調査の成果と課題」 p.163 (高崎市教委 2013)



第59図 萩原柳ノ内遺跡周辺の畦畔想定図

参考文献

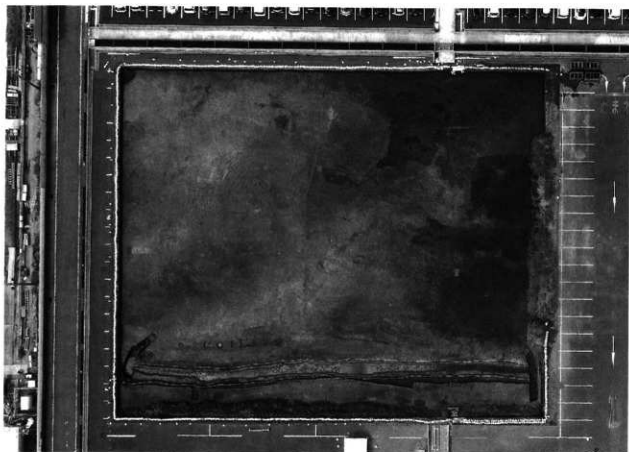
論文等

- 群馬県史編さん委員会 1981 『群馬県史』資料編3
 群馬県教育委員会 1988 『群馬県の中世城館跡』
 高崎市市史編さん委員会 1996 『新編 高崎市史』資料編3 中巻1
 高崎市市史編さん委員会 1998 『新編 高崎市史』資料編1 原始古代1
 高崎市市史編さん委員会 1999 『新編 高崎市史』資料編2 原始古代Ⅱ
 高崎市市史編さん委員会 2000 『新編 高崎市史』遺史編2
 高崎市市史編さん委員会 2002 『新編 高崎市史』資料編8
 高崎市市史編さん委員会 2003 『新編 高崎市史』遺史編1
 かみつけの星博物館第12回特別展 2004 『1108 - 浅間山噴火 - 半世への胎動』 かみつけの星博物館
 かみつけの星博物館第14回特別展 2006 『はるな30年物語 - 古墳時代に勝名山が大噴火した。災害と向き合うヒト、そして復興へ』
 かみつけの星博物館

発掘調査報告書

- 群馬県教育委員会文化財保護課 1975 『土地新幹線地域埋蔵文化財発掘調査報告Ⅰ』
 群馬県住宅供給公社 1979 『下新田遺跡』
 高崎市教育委員会 1988 『鳥野村東遺跡』
 高崎市教育委員会 1989 『西横手遺跡群(Ⅰ)』
 高崎市教育委員会 1990 『西横手遺跡群(Ⅱ)』
 高崎市教育委員会 1992 『高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書』
 県史地理区画調査委員会 1999 『萩原上・下五丁田Ⅰ遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999 『宿横手三波川遺跡』
 高崎市教育委員会 2000 『高崎市内遺跡埋蔵文化財緊急発掘調査報告書14』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000 『甘楽桑里遺跡(大山前地区)・福島寺森遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『宿横手三波川遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001 『西横手遺跡群』
 県史地理区画調査委員会 2001 『萩原上五丁田Ⅱ遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『宿横手三波川遺跡、西横手遺跡群』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『横手南川崎遺跡、横手湯田遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『上流横町北遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『上流横町北遺跡、上流Ⅱ遺跡』
 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『西田遺跡、村中遺跡』
 高崎市教育委員会 2003 『萩原八幡西・七五丁田Ⅲ・下五丁田Ⅱ遺跡』
 高崎市教育委員会 2005 『萩原沖中遺跡』
 高崎市教育委員会 2007 『萩原沖中Ⅱ遺跡』
 玉村町教育委員会 2007 『砂町遺跡(第1～3次調査)・尾形町Ⅲ遺跡、中之坊遺跡』
 高崎市教育委員会 2009 『萩原沖中遺跡第3次調査』
 高崎市教育委員会 2009 『萩原沖中遺跡5』
 高崎市教育委員会 2009 『萩原・沖中遺跡6』
 前橋市教育委員会 2010 『南部拠点地区遺跡群No.4』
 高崎市教育委員会 2013 『萩原・沖中遺跡7 西横手・西免遺跡4 西横手・西免遺跡5』
 前橋市教育委員会 2014 『南部拠点地区遺跡群No.10』
 前橋市教育委員会 2014 『南部拠点地区遺跡群No.11』
 高崎市教育委員会 2015 『萩原・沖中遺跡8』
 高崎市教育委員会 2022 『萩原・沖中遺跡9』
 前橋市教育委員会 2022 『南部拠点地区遺跡群No.12』
 高崎市教育委員会 2023 『萩原沖中遺跡10』

写 真 图 版



第3面全景（上が西）



第3面北東部全景（上が西）



第3面南東部全景（上が西）



第3面南西部全景（上が西）



第3面北西部全景（上が西）



第3面全景（北から）



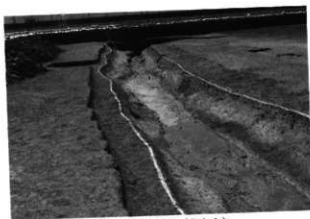
SD3全景（北から）



SD3全景（北東から）



SD3全景（東から）



SD3南側全景（北から）



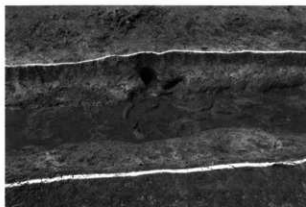
SD3中央部全景（南東から）



SD 3北側全景（北西から）



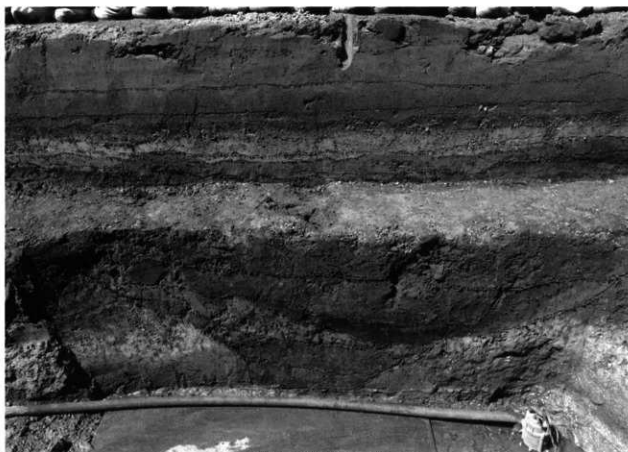
SD 3木杭出土状況（南東から）



SD 3ピット状遺構全景（東から）



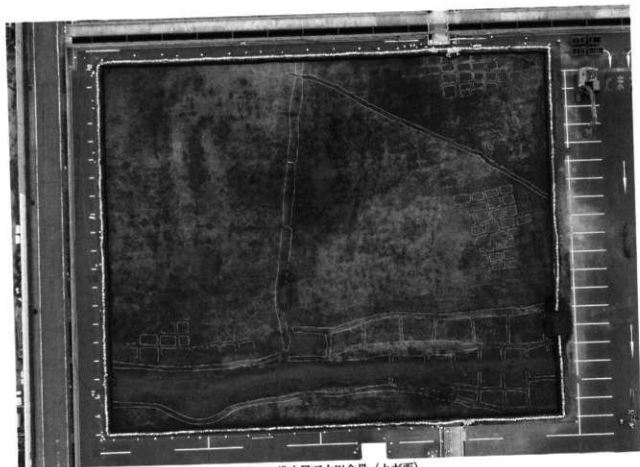
SD 3ピット状遺構全景（東から）



SD 3調査区南壁断面状況（北から）



Hrf-A洪水層下水田全景（東から）



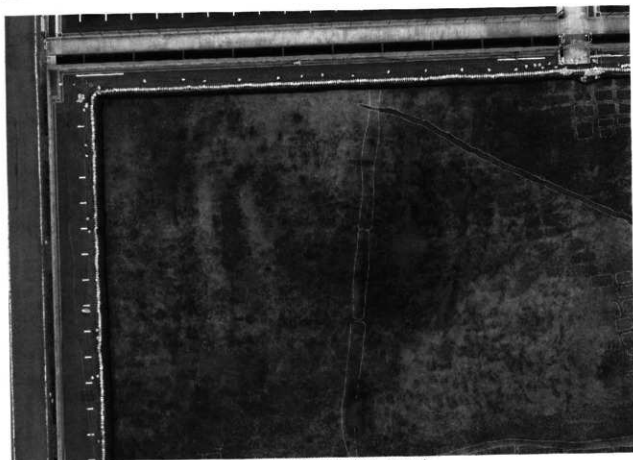
Hrf-A洪水層下水田全景（上が西）



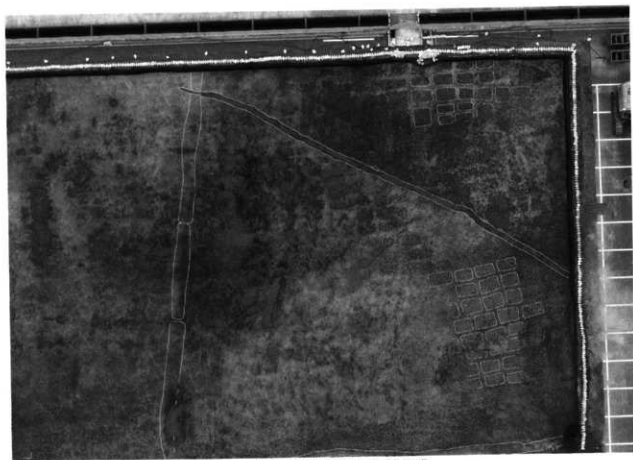
Hr-F/A 洪水層下水田北部全景（上が西）



Hr-F/A 洪水層下水田南部全景（上が西）



Hr-FA 洪水層下水田南西部全景（上が西）



Hr-FA 洪水層下水田北西部全景（上が西）



Hr-FA洪水層下水田全景（北から）



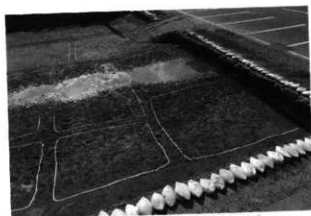
Hr-FA洪水層下水田北側全景（北から）



Hf-FA 洪水層下水田北側全景（北から）



Hf-FA 洪水層下水田北西側全景（南東から）



Hf-FA 洪水層下水田北側全景（東から）



Hf-FA 洪水層下水田東側全景（北東から）



SD1・Hf-FA 洪水層下水田東側全景（北から）



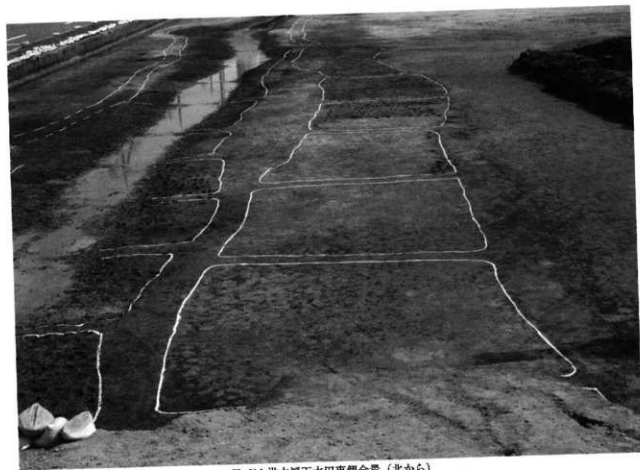
SD 1・Hr-FA洪水層下水田東側全景（南西から）



SD 1・Hr-FA洪水層下水田南側全景（南東から）



SD1・Hr-FA洪水層下水田東側全景（南西から）



Hr-FA洪水層下水田東側全景（北から）



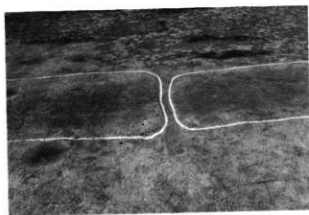
Hr-FA洪水層下水田大畦畔全景（西から）



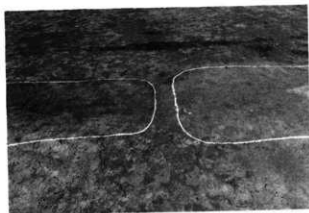
Hr-FA洪水層下水田大畦畔全景（西から）



水口1全景（南から）



水口2全景（南から）



水口3全景（南から）



水口4・5全景（南東から）



SD2全景（北から）



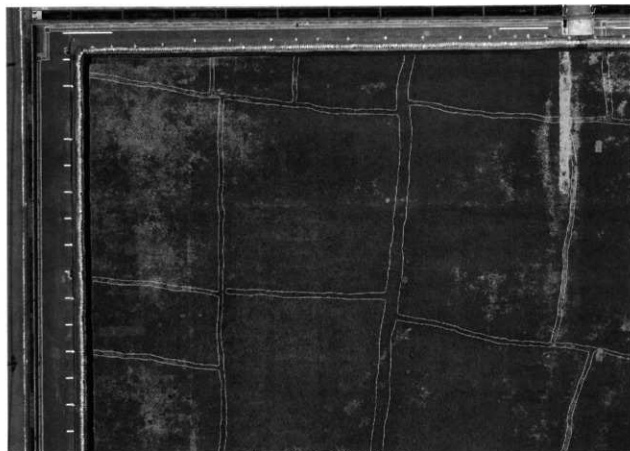
As-B 軽石下水田全景（上が西）



As-B 軽石下水田北東部全景（上が西）



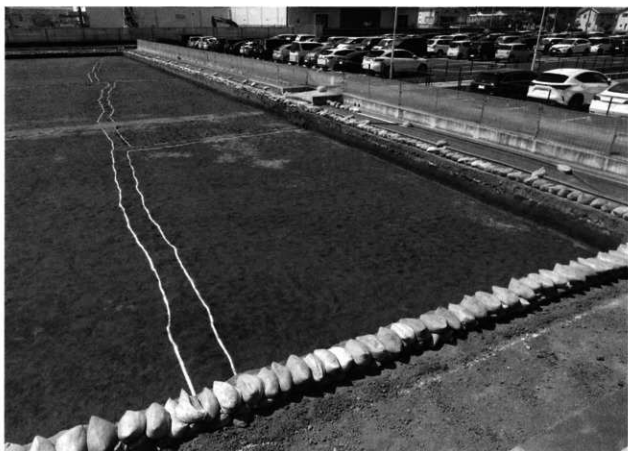
As-B 軽石下水田南東部全景（上が西）



As-B 軽石下水田南西部全景（上が西）



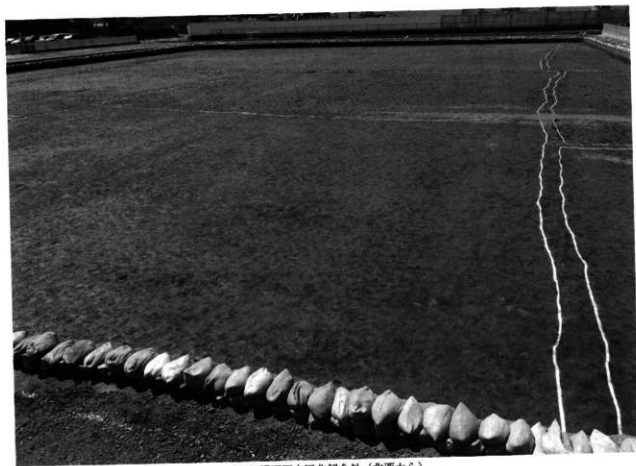
As-B 軽石下水田北西部全景（上が西）



As-B 軽石下水田西側全景（北から）



As-B 軽石下水田西側全景（北西から）



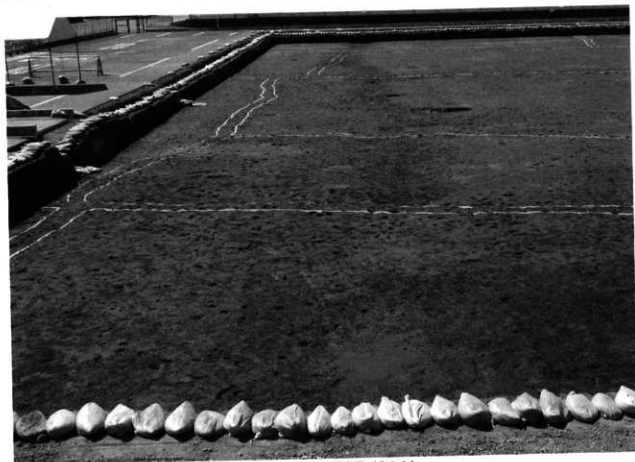
As-B 軽石下水田北側全景（北西から）



As-B 軽石下水田南側全景（西から）



As-B 軽石下水田東側全景（南から）



As-B 軽石下水田東側全景（北から）



As-B 軽石下水田大畦畔全景（西から）



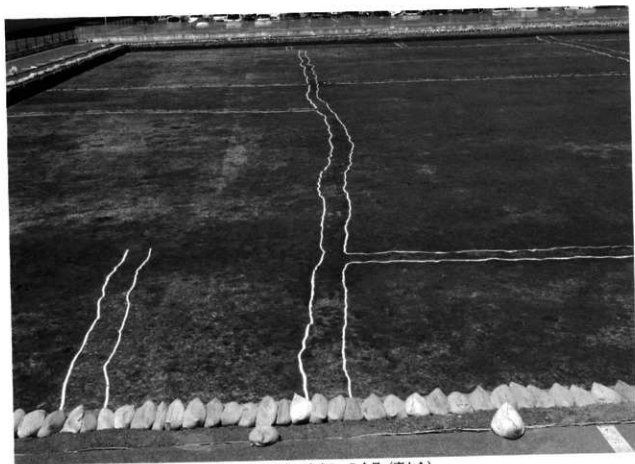
A-B 軽石下水田畦畔B全景（北から）



A-B 軽石下水田畦畔日全景（東から）



As-B軽石下水田畦畔I全景（南西から）



As-B軽石下水田畦畔O・P全景（東から）



假石 1 検出状況 (北西から)



假石 2 検出状況 (南西から)



耕作具痕検出状況 (南西から)



作業風景 (東から)



作業風景 (南東から)



作業風景 (南東から)



作業風景 (北から)



作業風景 (北から)



SD 3-1 (1/3)



SD 3-2 (1/3)



SD 3-3 (1/2)



SD 3-4 (1/4)



SD 3-5 (1/4)



SD 3-6 (1/4)



SD 3-7 (1/4)



SD 3-8 (1/4)



SD 3-9 (1/4)



SD 3-10 (1/4)



SD 3-11 (1/4)



SD 3-12 (1/4)



SD 3-13 (1/6)



SD 3-14 (1/6)



第3面-1 (1/4)



第3面-2 (1/2)



第3面-3 (1/2)

報告書抄録

カ タ カ ナ	ハギワラヤナギノウチイセキ
書 名	萩原柳ノ内遺跡
副 書 名	協和キリン高崎工場C地区倉庫棟建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻 次	—
シ リ ー ズ 名	高崎市文化財調査報告書
シ リ ー ズ 番 号	第502集
編 著 者 名	佐野良平
編 集 機 関	技研コンサル株式会社
編集機関所在地	〒371-0033 群馬県前橋市面領町2-21-12
発 行 機 関	高崎市教育委員会
発行機関所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1
発 行 年 月 日	2023年12月15日

フリガナ	フリガナ	コ ー ド		位 置		調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所 在 地	市町村	遺跡番号	北 緯	東 経			
ハギワラヤナギノウチイセキ 萩原柳ノ内遺跡	群馬県高崎市高松町字柳ノ内 241-2、254-1、261-2先水路、 ・道路、254-1先水路	102020	873	36°20' 18	139°04' 20	20230601 / 20230831	3,862㎡	倉庫棟建設

所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主 な 遺 物	特 記 事 項
萩原柳ノ内遺跡	生産	古墳時代	水路跡	S字口縁台付甕、 甕、高坏、鉢、 ミニチュア土器、 木杭	4世紀頃の水路跡
			Hr-FA 洪水層下水田 溝	土師器	5世紀末～6世紀初頭の徳名山噴火 を起因とする洪水堆積物に覆われた 水田跡。 畦畔に伏された中規模水路を確認。
		平安時代	As-B 軽石下水田	土師器 須恵器	嘉承三年、天仁元年（1108）浅間山 噴火によるAs-B軽石に覆われた倉屋 型区画を伴う水田跡。 坪境の人畦畔を確認。

萩 原 柳 ノ 内 遺 跡

—協和キリン高崎工場C地区倉庫棟建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2023年12月1日 印刷

2023年12月15日 発行

発行

高崎市教育委員会

〒371-8501 群馬県高崎市高松町35-1

Tel. 027-321-1292

編集

技研コンサル株式会社

印刷

朝日印刷工業株式会社